

第5次八戸市総合計画・八戸市復興計画

有識者アンケート調査

報 告 書

平成26年6月

八 戸 市

— 目 次 —

1. 調査の概要	1
2. アンケート結果（総合計画）	
(1) 住民自治の推進・自治体経営の強化	2
(2) 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画	4
(3) 産業・雇用	6
(4) 健康・福祉・介護・子育て・社会保障	8
(5) 環境・リサイクル・エネルギー	10
(6) コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	12
3. アンケート結果（復興計画）	
(1) 被災者の生活再建	14
(2) 地域経済の再興	15
(3) 都市基盤の再建	16
(4) 防災力の強化	17
4. 自由意見	18
参考. 調査票	28

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、第5次八戸市総合計画後期推進計画の6年間及び八戸市復興計画の10年間で重点的に取り組む施策や事業について、それぞれの計画における目指す姿に対して、現在、どの程度の成果が現れているかを把握し、それぞれ計画の進行管理に役立てることを目的として実施しました。

(2) 調査項目

総合計画後期推進計画に記載した行政分野及び復興計画に記載した施策の基本方向の別に目指す姿を基本に、6段階（十分満たされている、まあまあ満たされている、どちらともいえない、あまり満たされていない、ほとんど満たされていない、わからない）で現在の状況を評価していただきました。

(3) 調査対象

この調査は、有識者251名を対象としました。

- ①第5次八戸市総合計画の策定に携わった八戸市総合計画審議会委員、同専門部会委員及び戦略プロジェクト委員会委員並びに後期推進計画策定委員会委員の計145名
- ②八戸市復興計画検討会議委員8名（①の重複除く）
- ③市政モニター98名（①の重複除く）

(4) 調査方法

調査方法は郵送配布、郵送回収です。途中、回収率を高めるため、お礼・督促状を配布しました。

(5) 調査期間

- (3)の①、②については、平成26年4月22日に発送し、5月14日を投函締め切り、
- (3)の③については、平成26年5月12日に発送し、5月27日を投函締め切りとしました。

(6) 回収状況

配布数251票に対して、有効回収数は180票、有効回収率は71.7%でした。

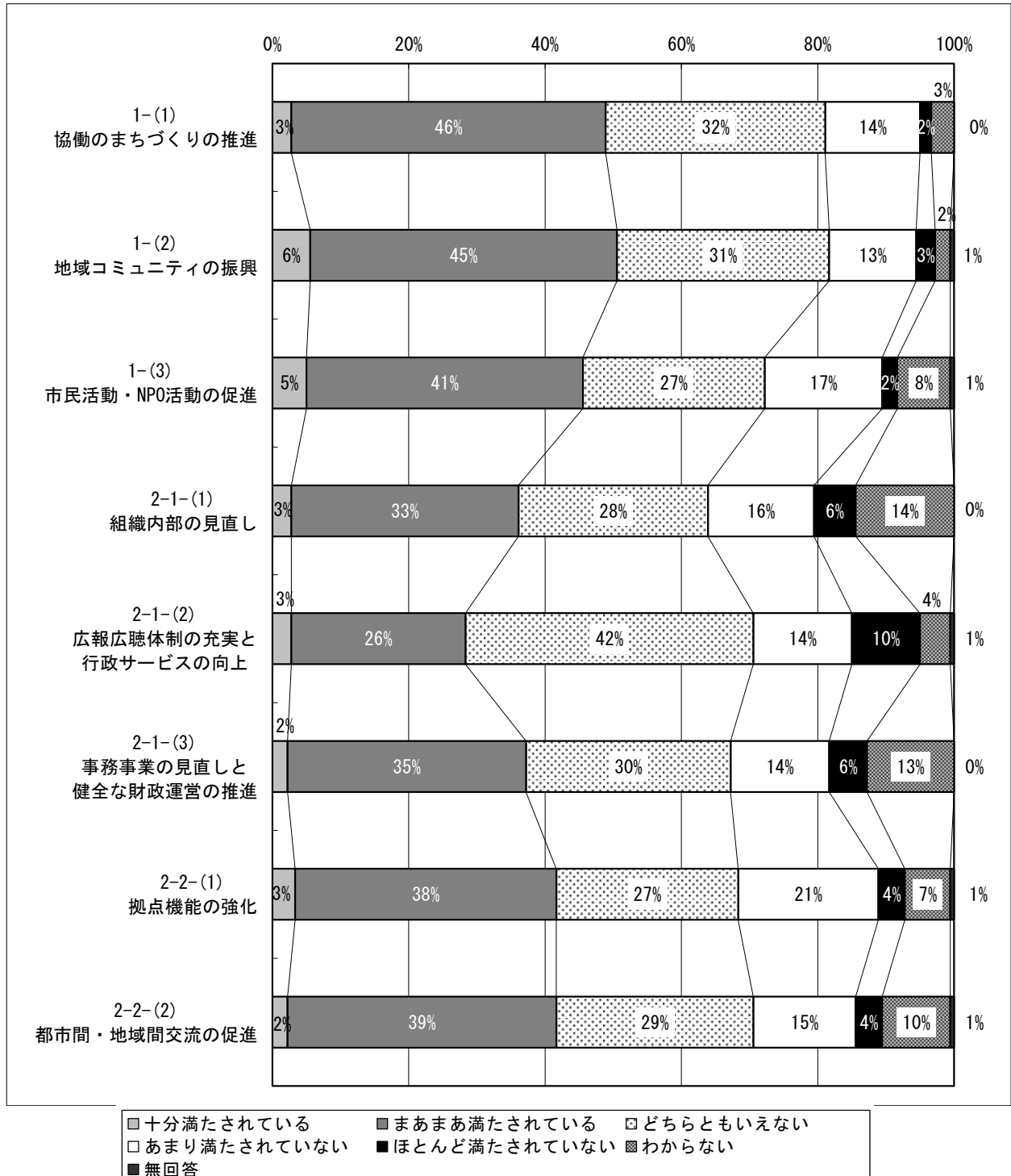
2. アンケート結果（総合計画）

（1）住民自治の推進・自治体経営の強化

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、「地域コミュニティの振興」が51%と最も高く、次に「協働のまちづくりの推進」49%、「市民活動・NPO活動の促進」46%となっています。

図 住民自治の推進・自治体経営の強化の分野での現状評価



※表中構成比は小数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%になりません。

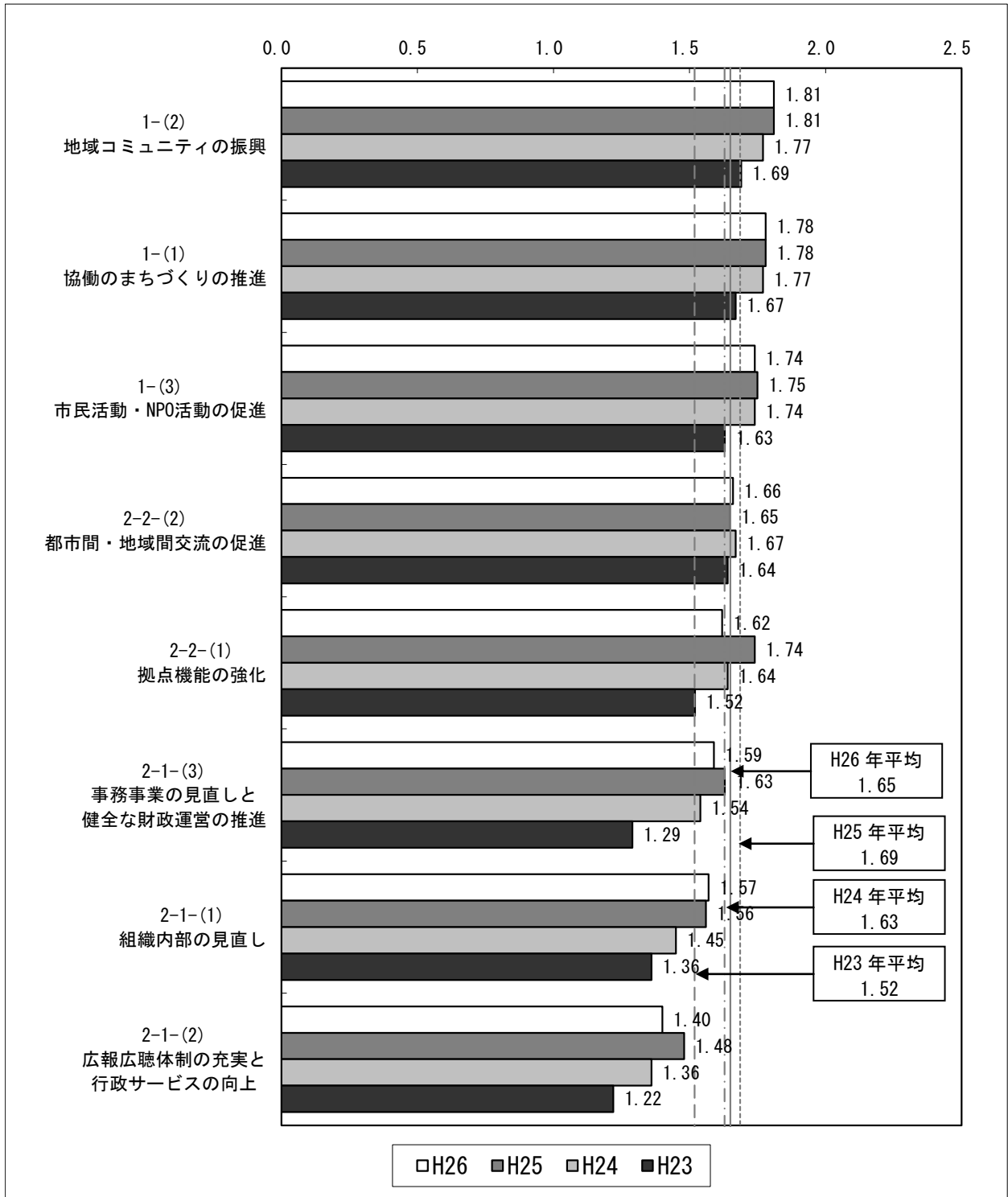
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

住民自治の推進・自治体経営の強化の分野での満足度得点の平均値は1.65点であり、前回は0.04点下回りました。ただし、全8項目中、2項目で前回は上回っています。

「地域コミュニティの振興」や「協働のまちづくりの推進」、「市民活動・NPO活動の促進」などが平均を上回っています。一方、自治体経営の強化に関する分野が平均値以下になっています。

図 住民自治の推進・自治体経営の強化の分野での満足度得点

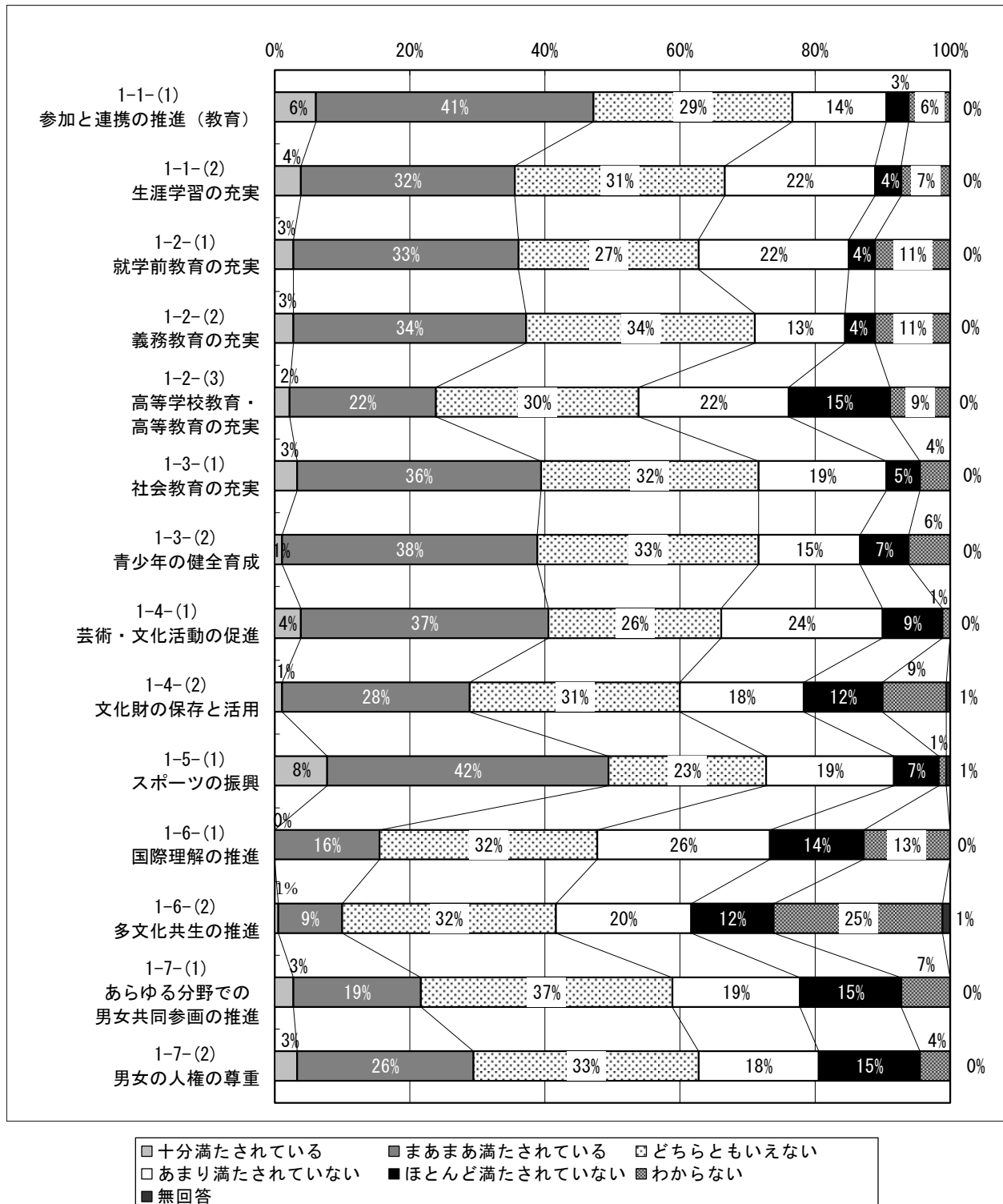


(2) 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、「スポーツの振興」が50%と最も高く、次に「参加と連携の推進（教育）」47%、「芸術・文化活動の促進」41%となっています。

図 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画分野での現状評価



※表中構成比は小数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%になりません。

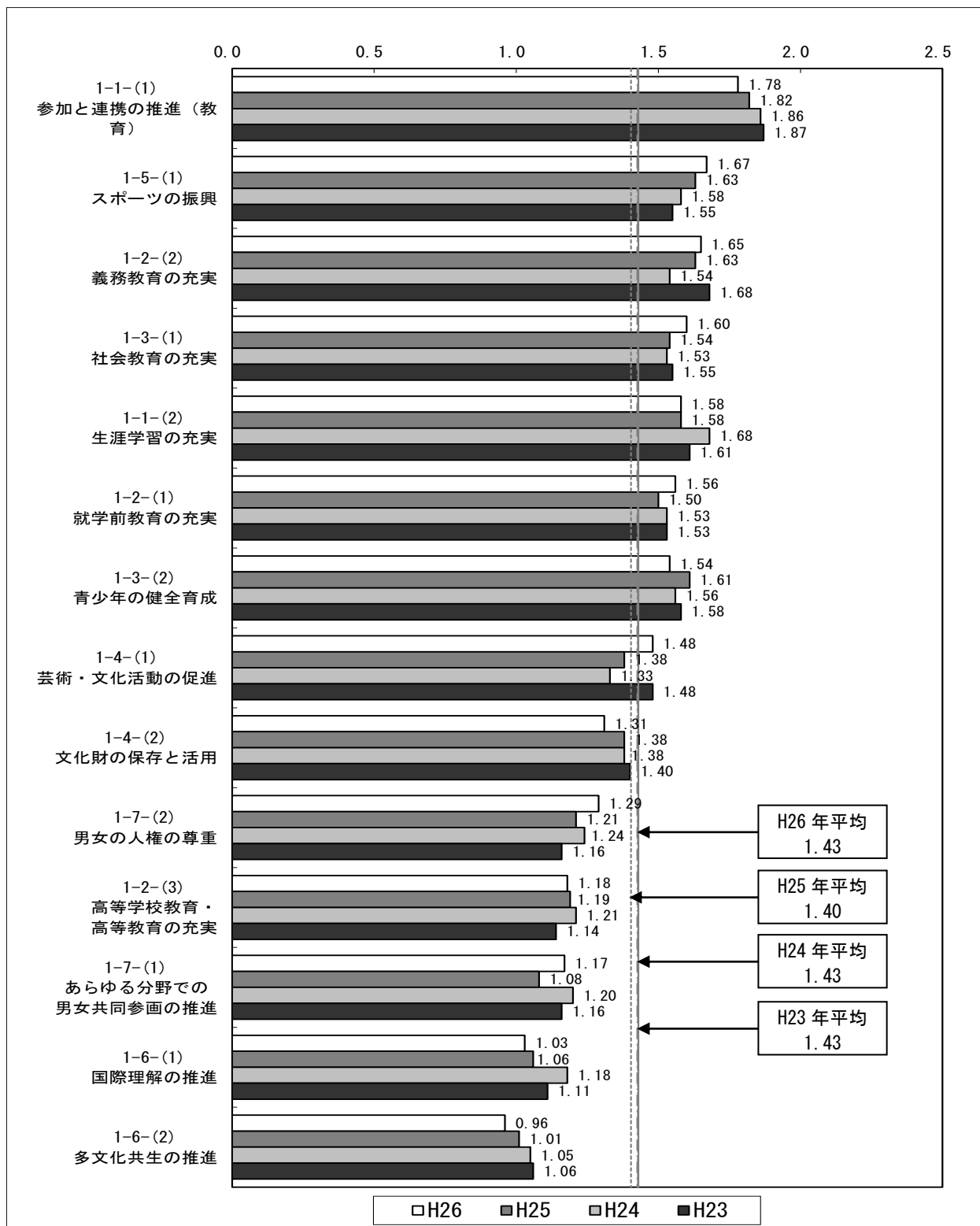
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画の分野での満足度得点の平均値は1.43点であり、前回は0.03点上回りました。また、全14項目中、7項目で前を上回っています。

「参加と連携の推進（教育）」や「スポーツの振興」、「義務教育の充実」などが平均を上回っています。一方、国際化や男女共同参画に関する分野が平均値以下になっています。

図 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画分野での満足度得点

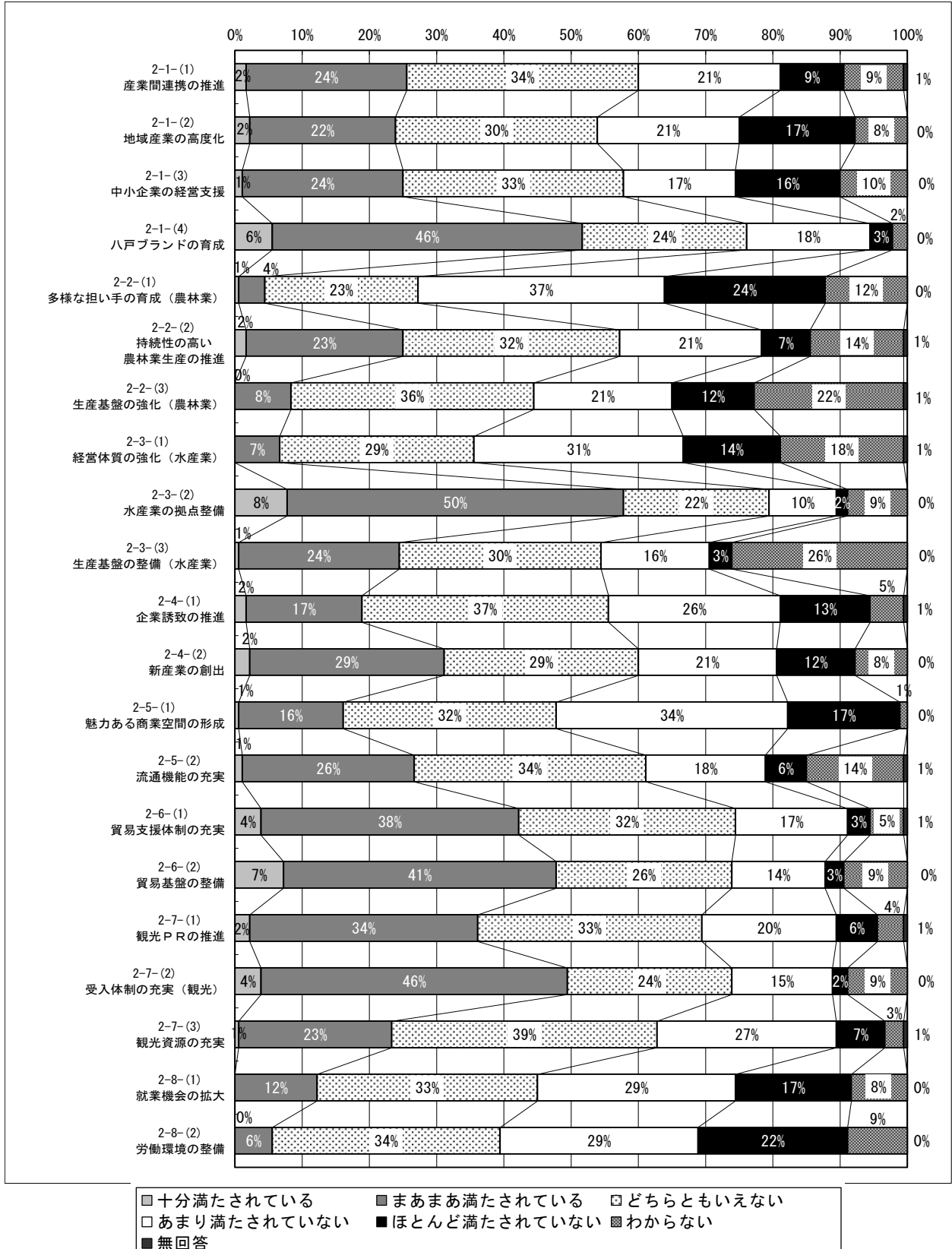


(3) 産業・雇用

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、「水産業の拠点整備」が58%と最も高く、次に「八戸ブランドの育成」52%、「受入体制の充実（観光）」50%となっています。

図 産業・雇用分野での現状評価



※表中構成比は小数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%になりません。

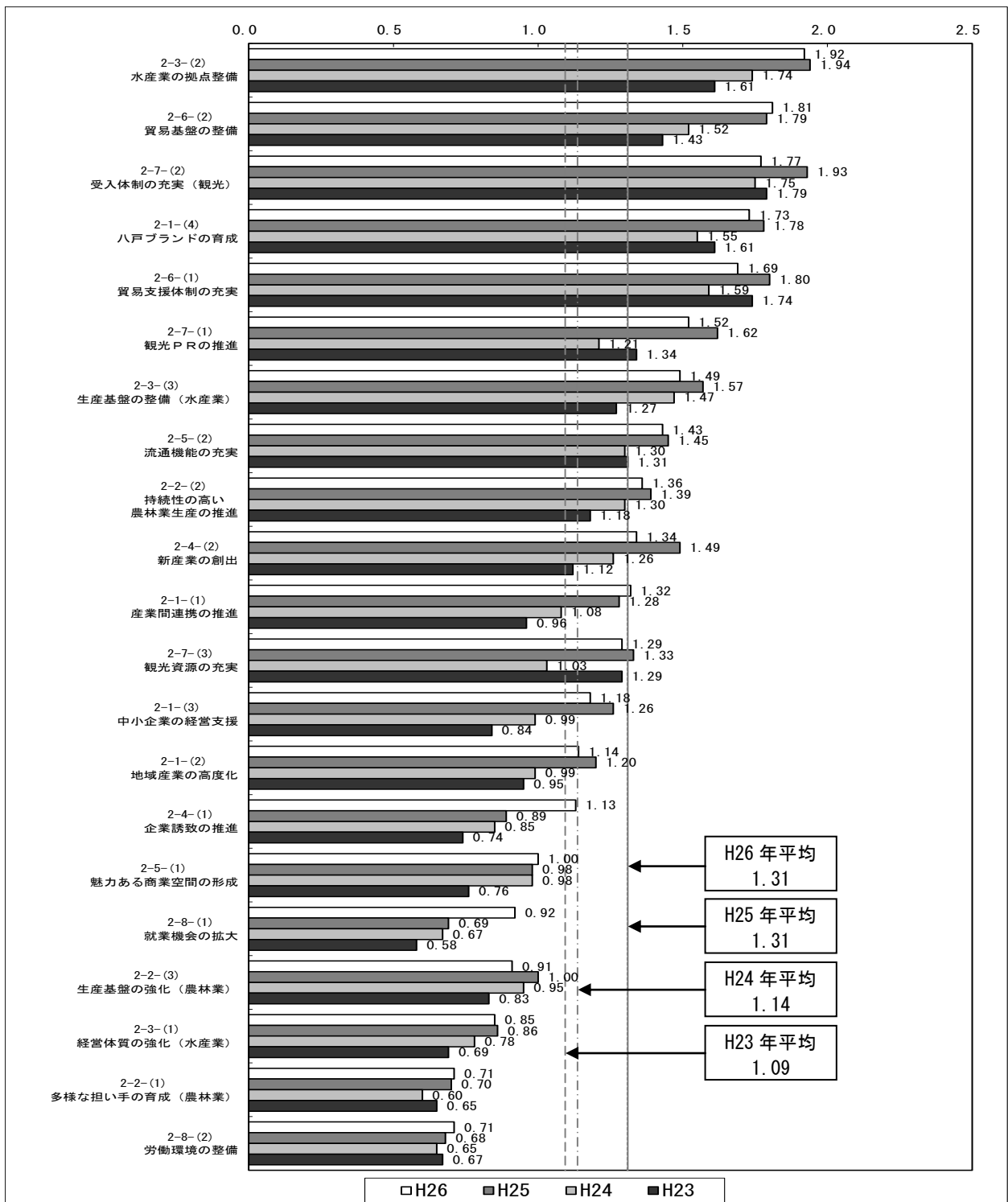
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

産業・雇用の分野での満足度得点の平均値は1.31点であり、前回と同様でした。また、全21項目中、7項目で前回を上回っています。

「水産業の拠点整備」や「貿易基盤の整備」、「受入体制の充実（観光）」などが平均を上回っています。一方、労働環境の整備や就業機会、農林業の担い手確保や生産基盤の強化、水産業の経営体質などの分野が平均値以下になっています。

図 産業・雇用分野での満足度得点

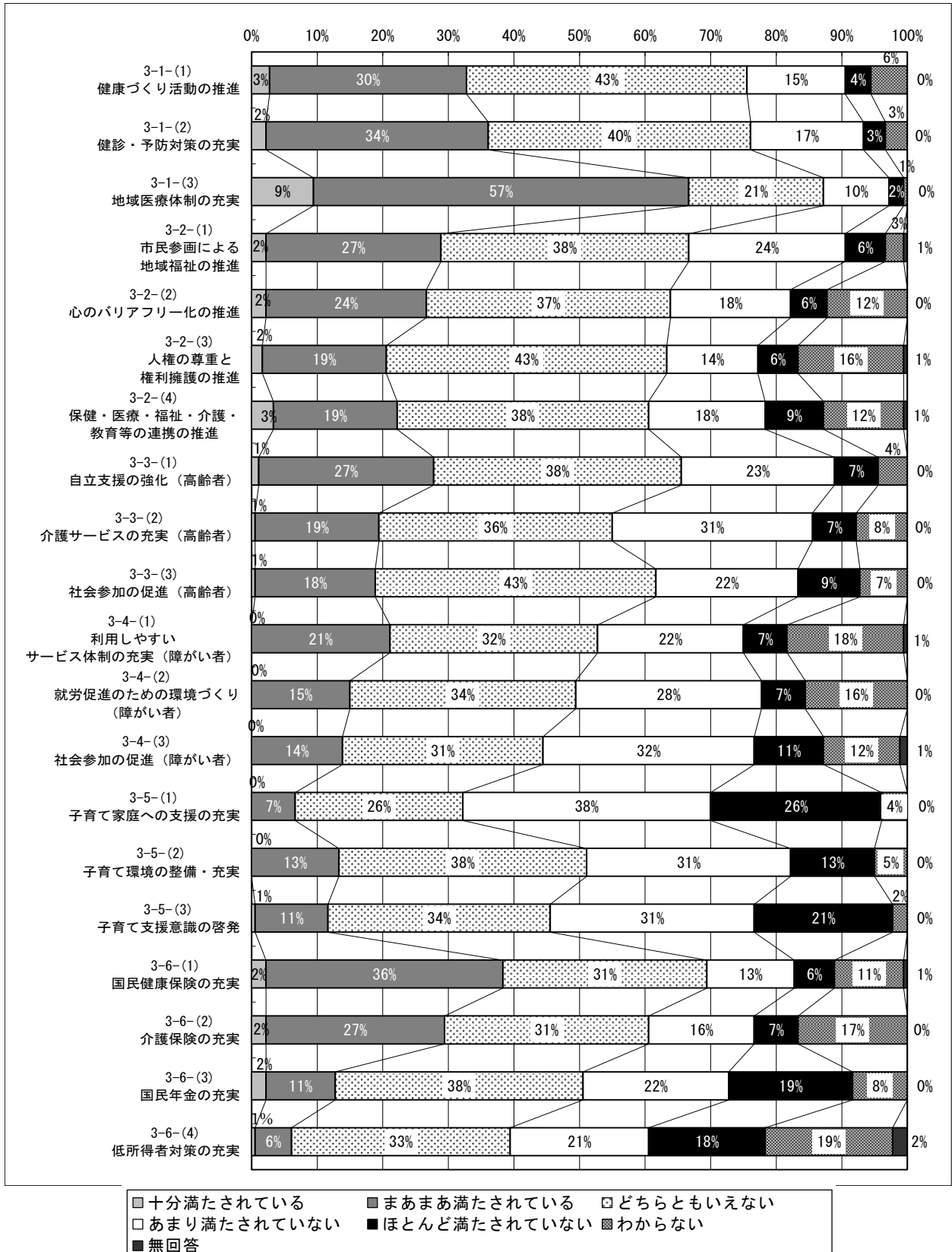


(4) 健康・福祉・介護・子育て・社会保障

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、「地域医療体制の充実」が66%と最も高く、次に「国民健康保険の充実」38%、「健診・予防対策の充実」36%となっています。

図 健康・福祉・介護・子育て・社会保障分野での現状評価



※表中構成比は小数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%になりません。

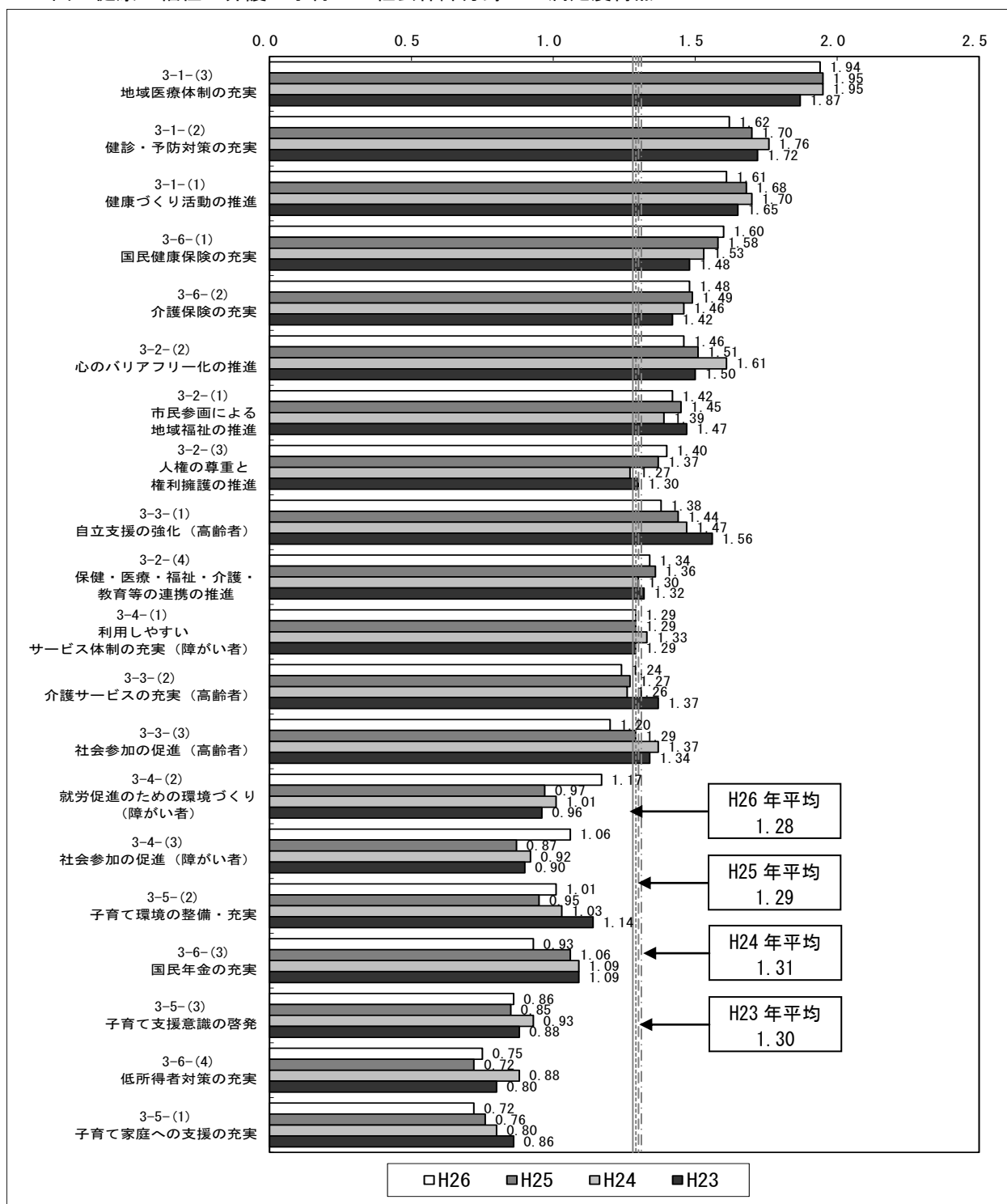
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

健康・福祉・介護・子育て・社会保障の分野での満足度得点の平均値は1.28点であり、前回は0.01点下回りました。ただし、全20項目中、7項目で前回は上回っています。

「地域医療体制の充実」や「健診・予防対策の充実」、「健康づくり活動の推進」などの医療や地域福祉に関する分野が平均を上回っています。一方、低所得者対策や子育て支援、障がい者の社会参加に関する分野が平均値以下になっています。

図 健康・福祉・介護・子育て・社会保障分野での満足度得点

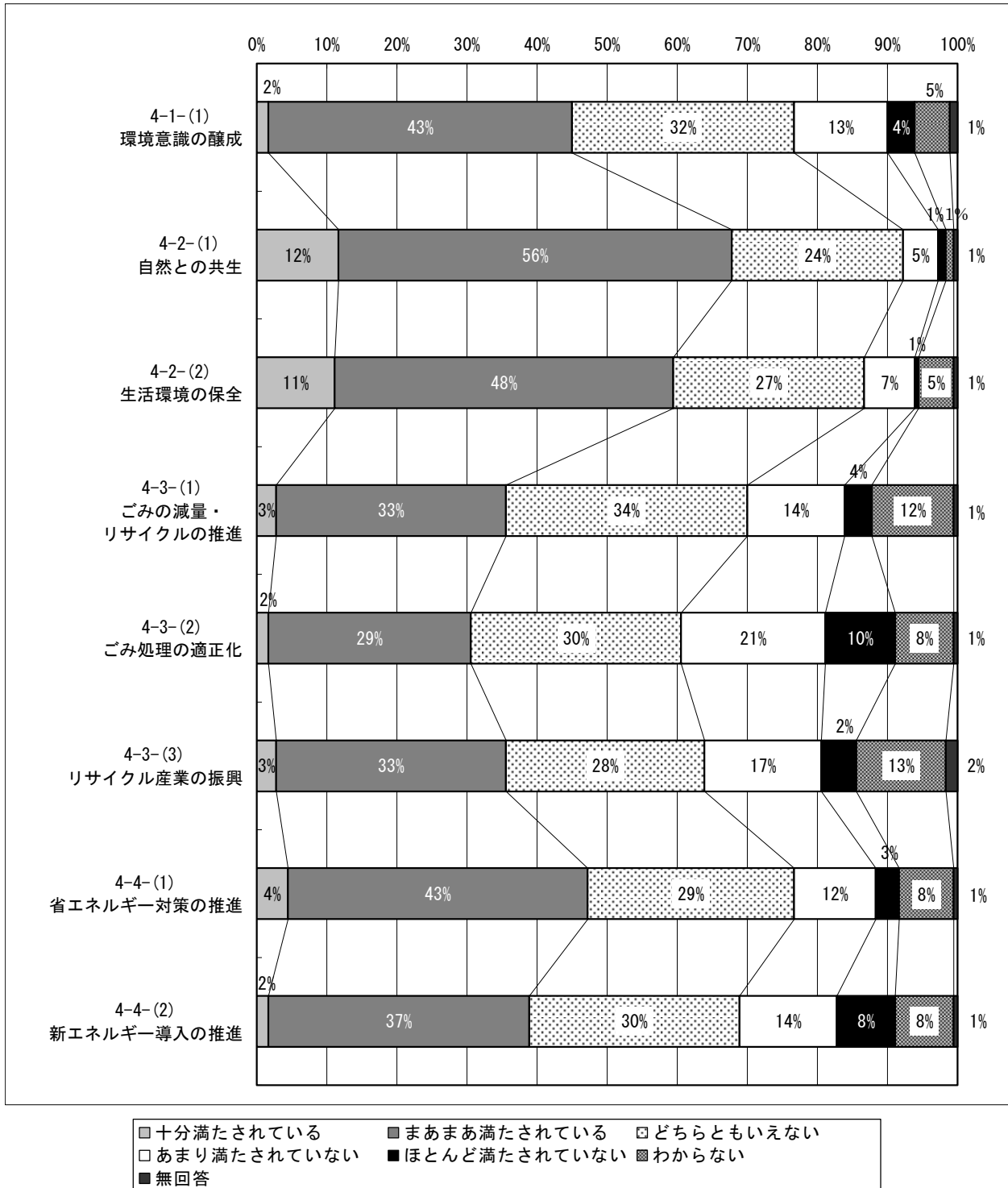


(5) 環境・リサイクル・エネルギー

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、「自然との共生」が68%と最も高く、次に「生活環境の保全」59%、「省エネルギー対策の推進」47%となっています。

図 環境・リサイクル・エネルギー分野での現状評価



※表中構成比は小数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%になりません。

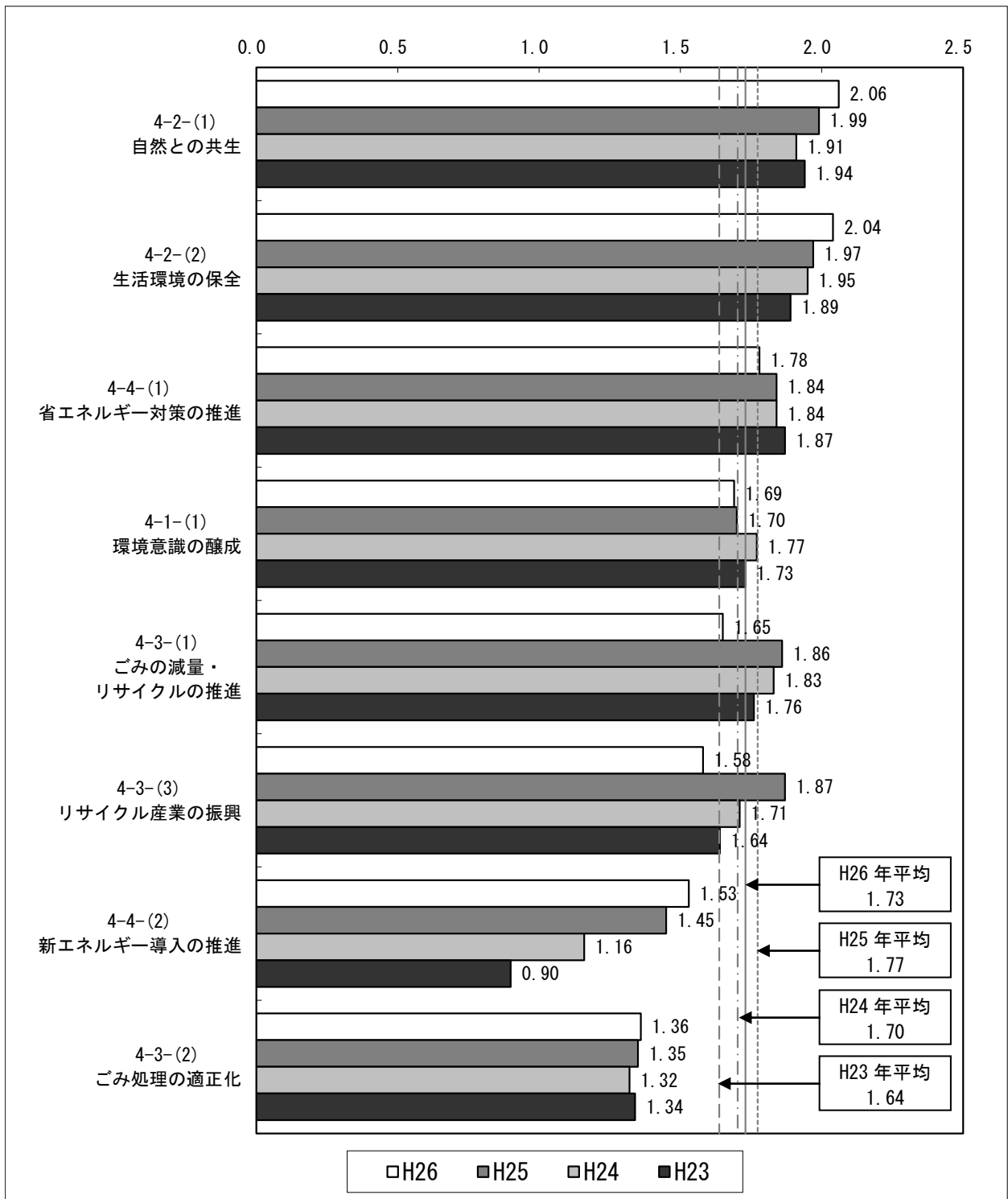
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

環境・リサイクル・エネルギーの分野での満足度得点の平均値は1.73点であり、前回は0.04点下回りました。ただし、全8項目中、4項目で前回は上回っています。

「自然との共生」や「生活環境の保全」、「省エネルギー対策の推進」が平均を上回っています。一方、ごみ処理の適正化やリサイクル、新エネルギー導入に関する分野が平均値を下回っています。

図 環境・リサイクル・エネルギー分野での満足度得点

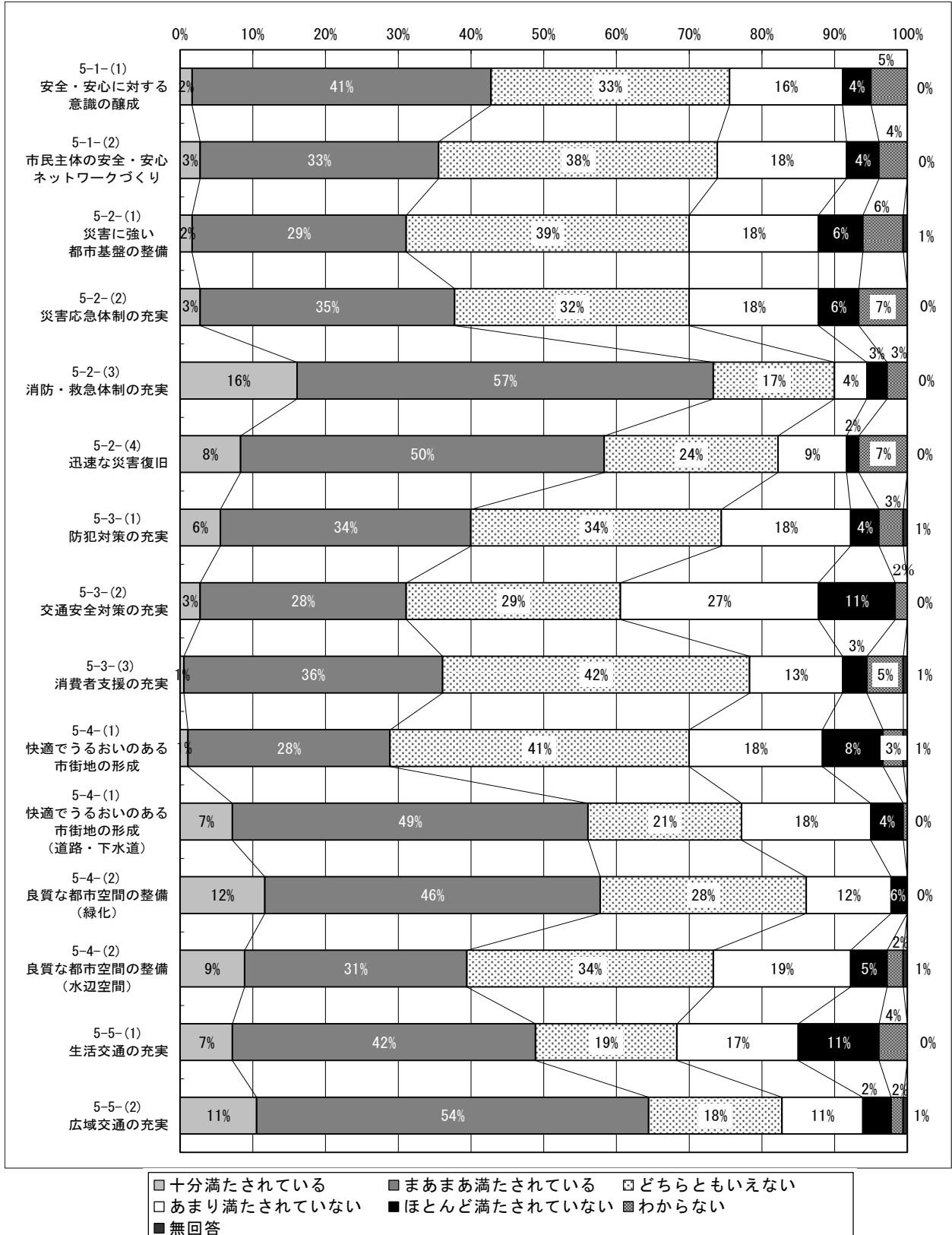


(6) コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、「消防・救急体制の充実」が73%と最も高く、次に「広域交通の充実」65%、「迅速な災害復旧」及び「良質な都市空間の整備（緑化）」が58%となっています。

図 コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通分野での現状評価



※表中構成比は小数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%になりません。

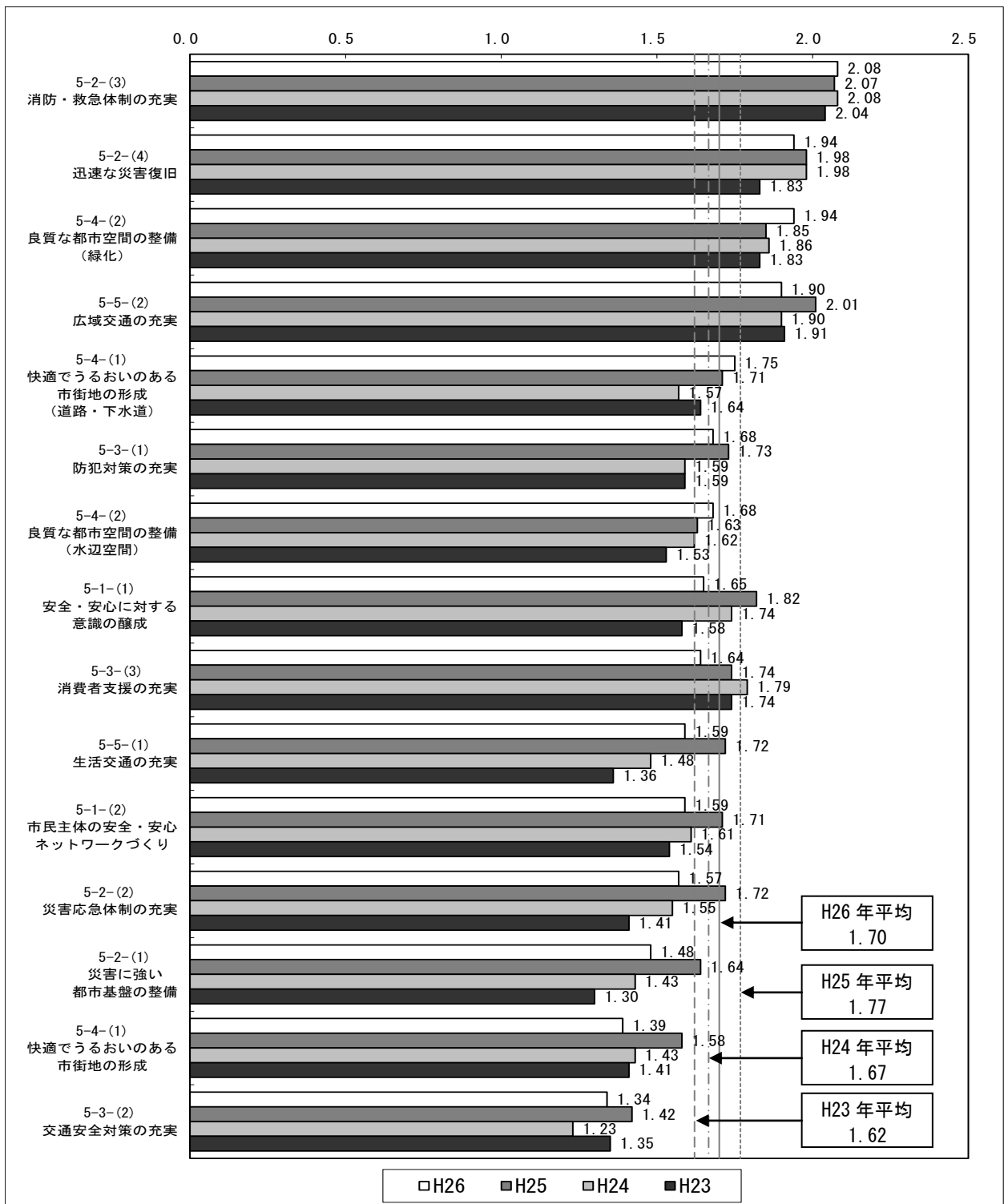
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通の分野での満足度得点の平均値は1.70点であり、前回を0.07点下回りました。ただし、全15項目中、4項目で前を上回っています。

「消防・救急体制の充実」や「迅速な災害復旧」、「良質な都市空間の整備（緑化）」などが平均を上回っています。一方、交通安全や快適な市街地形成、災害に強い都市基盤整備に関する分野が平均値以下になっています。

図 コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通分野での満足度得点



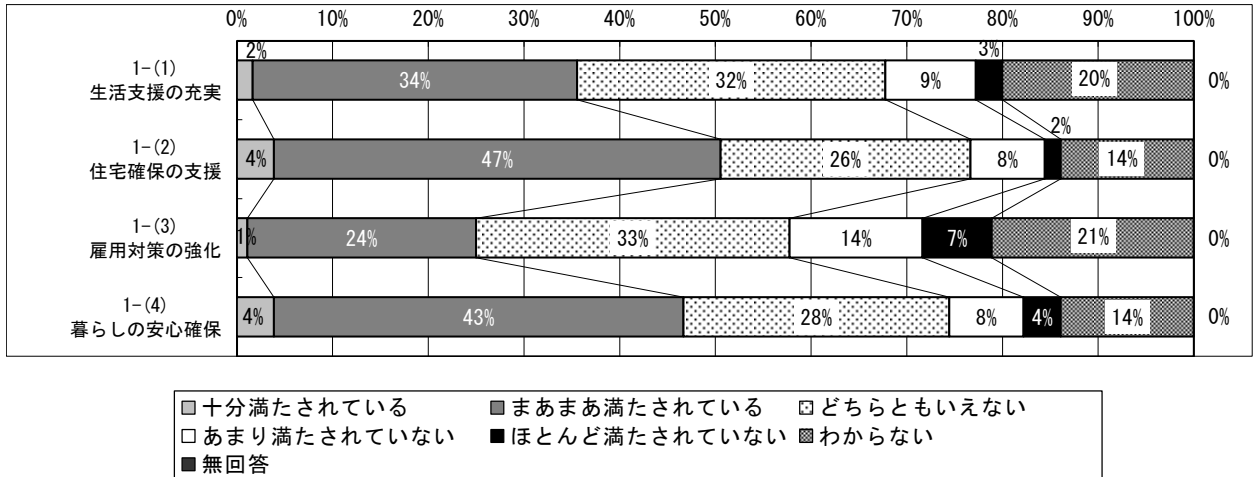
3. アンケート結果（復興計画）

（1）被災者の生活再建

1）満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、「住宅確保の支援」が51%と最も高く、次に「暮らしの安心確保」47%となっています。

図 被災者の生活再建に関する分野での現状評価



※表中構成比は小数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%になりません。

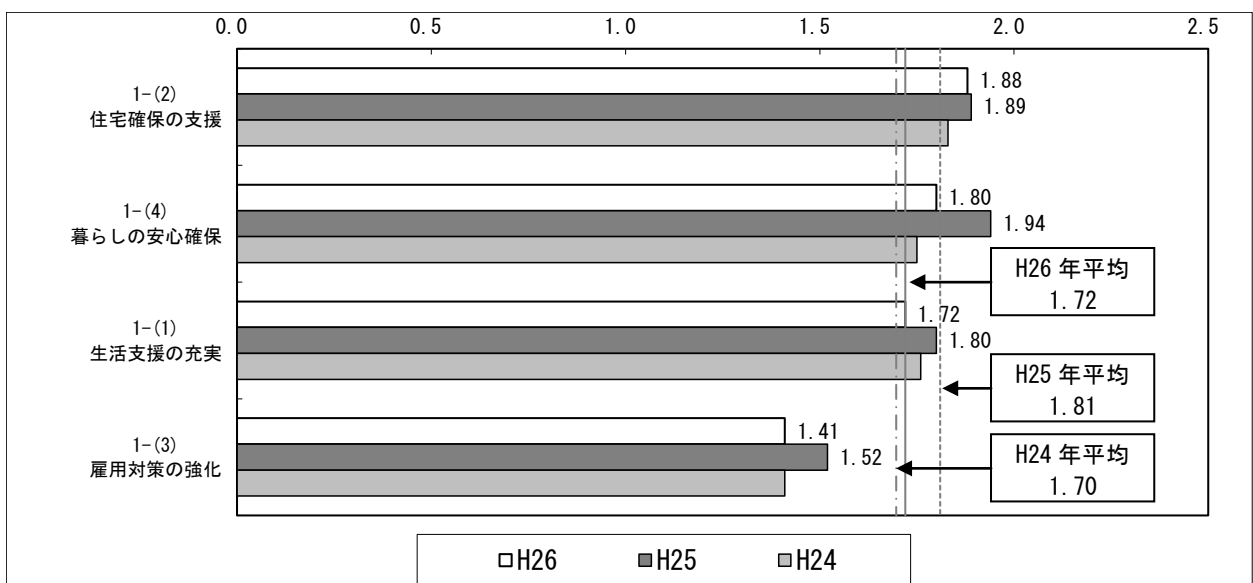
2）満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

被災者の生活再建に関する分野での満足度得点の平均値は1.72点であり、前回は0.09点下回りました。

「住宅確保の支援」や「暮らしの安心確保」が平均を上回っています。一方、雇用に関する分野が平均値以下になっています。

図 被災者の生活再建に関する分野での満足度得点

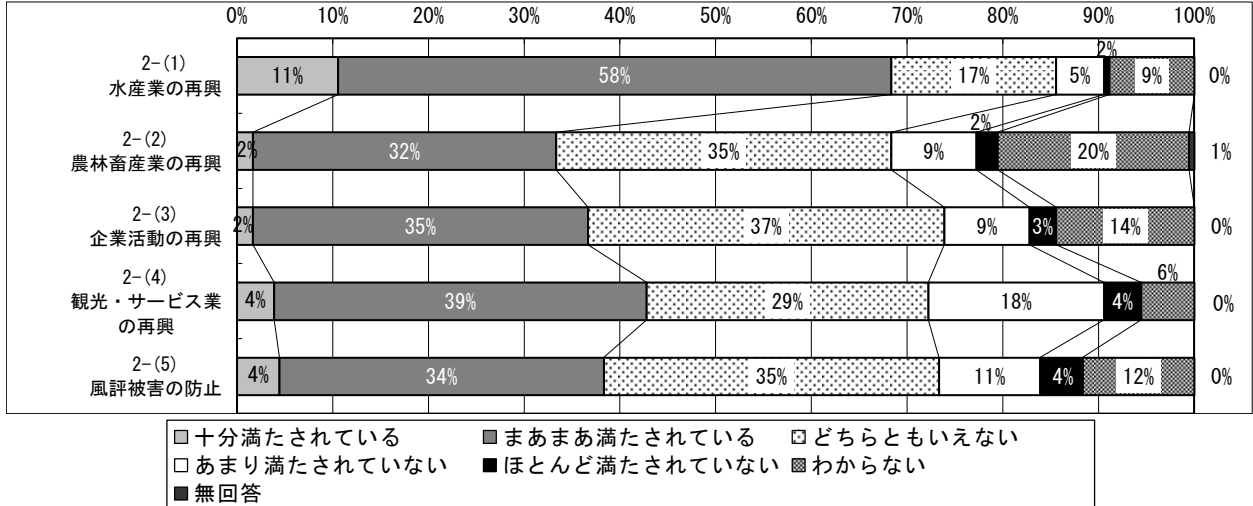


(2) 地域経済の再興

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、「水産業の再興」が69%と最も高く、次に「観光・サービス業の再興」43%となっています。

図 地域経済の再興に関する分野での現状評価



※表中構成比は小数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%になりません。

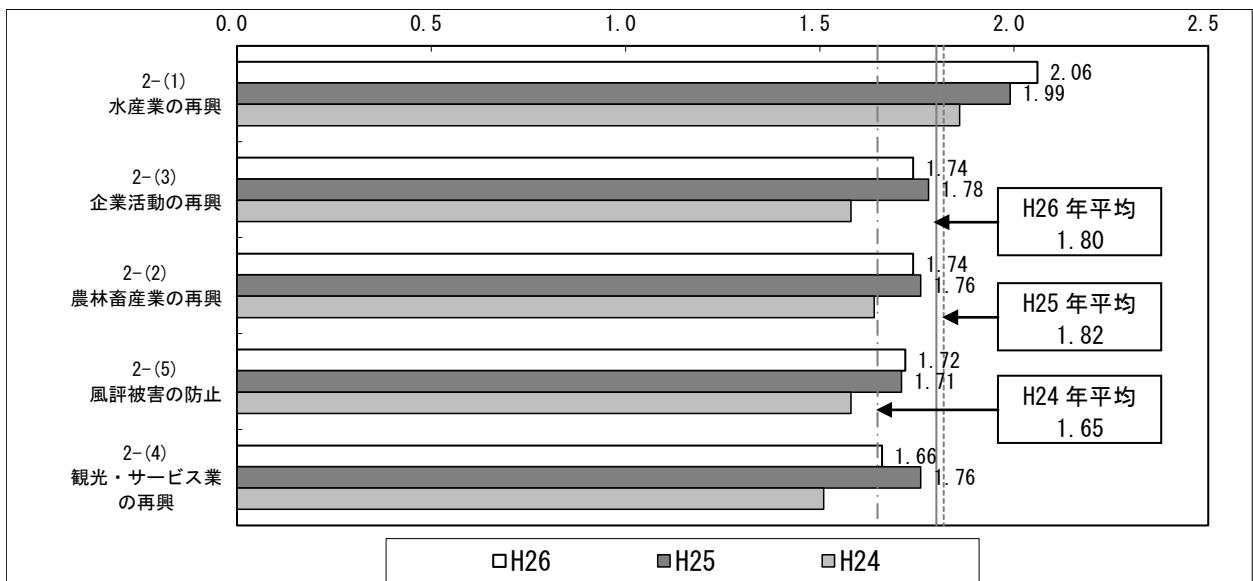
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

地域経済の再興に関する分野での満足度得点の平均値は1.80点であり、前回は0.02点下回りました。ただし、全5項目中、2項目で前回は上回っています。

「水産業の再興」が平均を上回っています。一方、風評被害の防止などに関する分野が平均値以下になっています。

図 地域経済の再興に関する分野での満足度得点

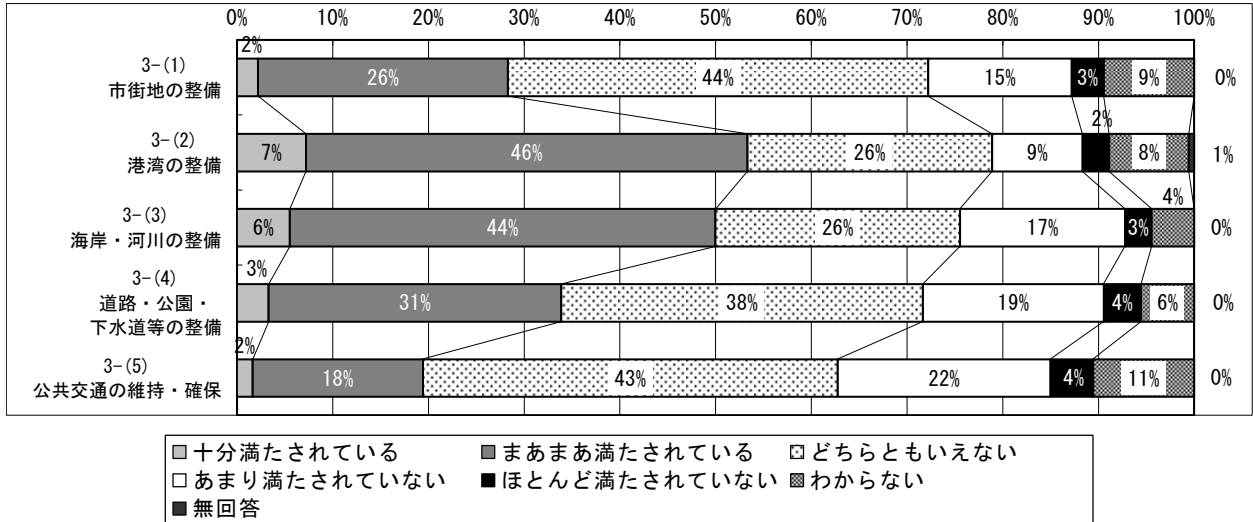


(3) 都市基盤の再建

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、「港湾の整備」が53%と最も高く、次に「海岸・河川の整備」50%となっています。

図 都市基盤の再建に関する分野での現状評価



※表中構成比は小数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%になりません。

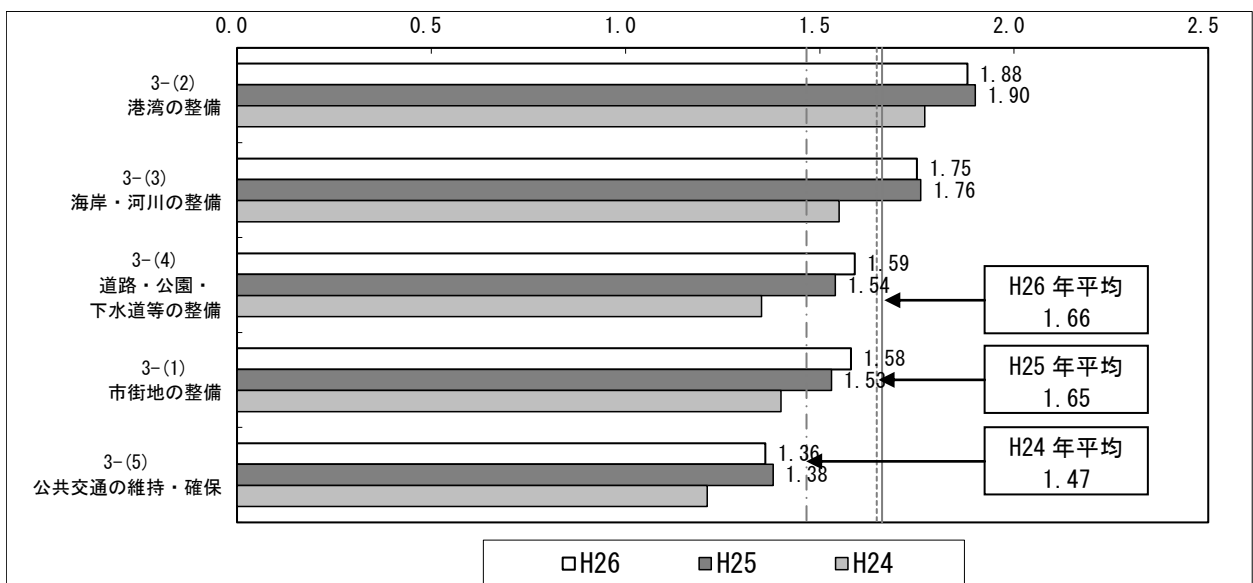
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

都市基盤の再建に関する分野での満足度得点の平均値は1.66点であり、前回を0.01点上回りました。また、全5項目中、2項目で前回を上回っています。

「港湾の整備」や「海岸・河川の整備」が平均を上回っています。一方、公共交通などに関する分野が平均値以下になっています。

図 都市基盤の再建に関する分野での満足度得点

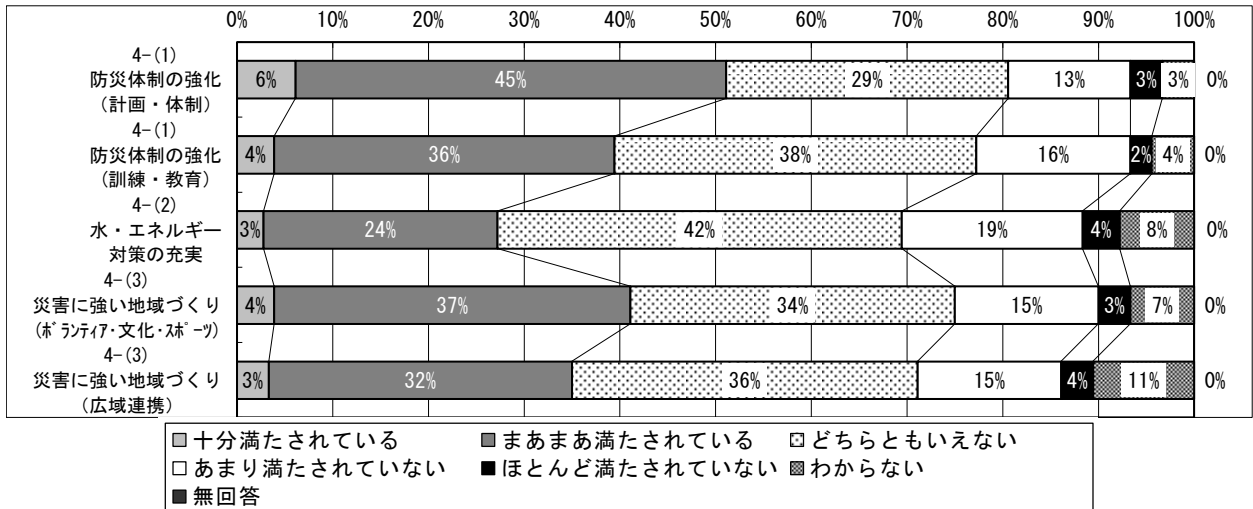


(4) 防災力の強化

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、「防災体制の強化（計画・体制）」が51%と最も高く、次に「災害に強い地域づくり（ボランティア・文化・スポーツ）」41%となっています。

図 防災力の強化に関する分野での現状評価



※表中構成比は小数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%になりません。

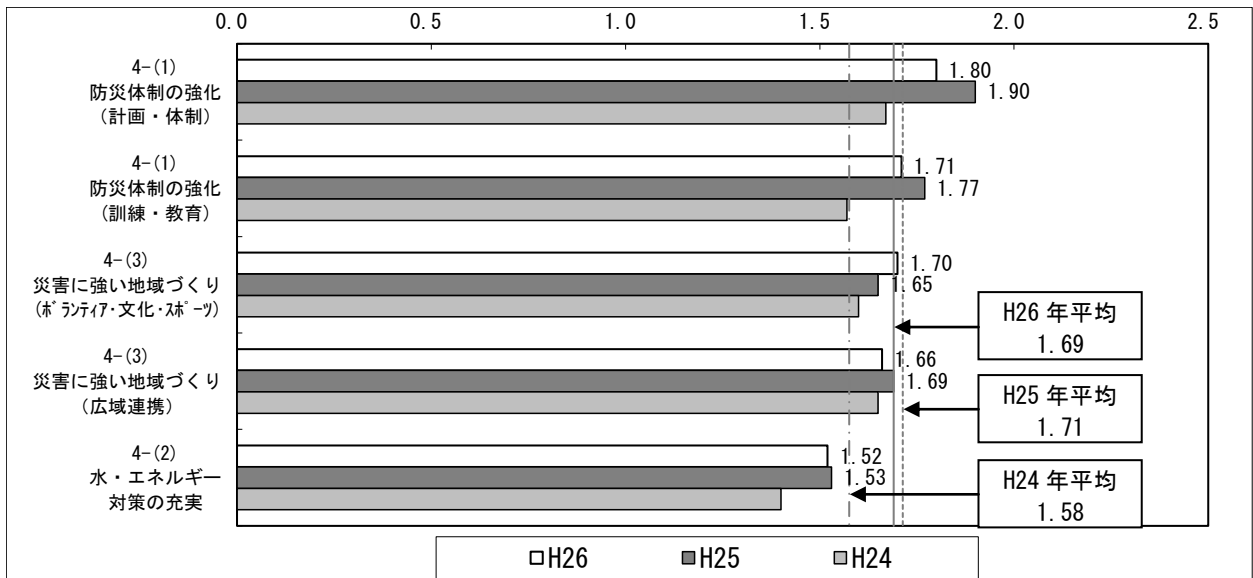
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

防災力の強化に関する分野での満足度得点の平均値は1.69点であり、前回は0.02点下回りました。ただし、全5項目中、1項目で前回は上回っています。

「防災体制の強化（計画・体制）」や「防災体制の強化（訓練・教育）」などが平均を上回っています。一方、水・エネルギー対策などに関する分野が平均値以下になっています。

図 防災力の強化に関する分野での満足度得点



4. 自由意見

分野	項目	自由意見
自治体経営の強化	自治体経営	八戸市は、都市としての基礎点が低く政策が弱い。上辺や、見せかけで取りつくろっている感がある。八戸市の将来を見すえたまちづくりや、考え方がほしい。八戸市の人口が減っている事や、所得が低い事等、都市としての魅力や将来性をもっと考えるべきであります。住みやすい町や住みたい町には、ほど遠いと思いますが、それなりの努力と前進を望みます。
		すべてにおいて、実行、実績は出ているのだと思う。しかし、告知・PRがまいちの八戸市の行政だと感じる。もっともっと市民へのアピールに努力すべきだと思う。よろしく願います。(最近のいい例が、消防観閲式など)
		高く評価される様々な取組みが行われていると感じている。今後の施策において、優先順位を市民に対して明示してもらえれば市としての姿勢がよりわかり易くなると思う。
		地域中核都市をめざし頑張ってください。
		平成26年3月現在八戸市の人口は237,927人と24万人を割り込んだ値を示しており、高齢化、少子化を迎えて課題が顕在化し始めている。また、若い女性の人口、2040年までに半減するとのショッキングな報道もなされている。八戸市には、若年層の流出に歯止めをかける対策を行うなど、地域の実情に合った優先順位に基づいた施策を実施することが求められるのはもちろんである。一方で、このように報道で取り上げられ、市民の関心を引いている時機に、これらの課題に対する市の積極的な取り組み施策の広報や故郷の魅力再喚起イベント実施等により、地域が問題として真面目に取り組んでいる姿を見せることがあっても良いと思う。
		No.6 事務事業の見直しについて、外部委員会設置が必要。
		痴漢を犯した職員は懲戒解雇が当たり前では？民間なら即日クビでしょう。しかも天下りで偉いポストに就いているという。市民誰もが納得いかないと思います。
		市の取り組みは広報に載っているだけであまり知られていないので、もっと積極的に目に止まるような方法で周知した方が良い。市役所に不満を持っている人は大勢いる、という話も耳にしましたし、市民との距離を縮める努力も必要だと思う。
		※アンケートの趣旨に合わないかもしれませんが勝手に書かせてもらいました。 Iの4・6について ○市役所の仕事ぶりについて、採用間もない(1年~3年?)若い職員を担当させる仕事は、直接の上司(課長やリーダー)のしかるべき指導が大事だと思う。と同時にその業務の前任者からしっかりした引き継ぎや申し送りが大切だと思う。新年度仕事のスタートや諸団体の総会等が開始される今だから特に感じる。万全の準備をして事に当たることにより、効率のいい職務遂行や行政サービスが出来ると思う。
		震災の瓦礫処理が問題になっている時、八戸市民の権利を守るんだと八戸に瓦礫を持って来られては困ると真先に反対の名のりをあげるのと、おとなりの野田村の瓦礫は一旦八戸に全部持って来いと名のりをあげるのと、どちらを八戸市民が望んでいるのか、行政は正確につかんで欲しい。事後の保障に消極的なあまりか、特定の個人あるいは特定の地域の利益を守ることに終始して子孫の代まで汚名を残すことになってはいけない。スーパーなどの義援金箱に千円札があふれる程入っていた(勿論全国的な傾向だが)あの様子から八戸市民が何を望んでいるか、身内から死者を出していない自分達だからせめてこれくらいやらせてもらいたい—そういう声を感じとってもらいたかった。あの当時は市政モニターではなかったので、今後の参考にして頂きたい。

分野	項目	自由意見
自治体経営の強化	自治体経営	<p>かつて、中里市政では「50万人都市構想」がありました。大風呂敷で時代を感じるものではありませんが、単に都市を大型化するというだけではなく、理念理想があったように思います。現在は個別計画や、市長の思い・公約は優れたものとして機能しているようですが、中里市政や巻氏の発想から今一度学ぶ部分もあるように感じます。今こそ、官民の八戸市の叡智を結集して、力強い小林市政だからこそ骨太の、未来を見据えた都市ビジョンを示すときではないでしょうか。教育、福祉、環境、観光、産業、文化、都市政策のそれぞれにかかり、それぞれが連携するまちづくりのビジョンが策定されること（目指す都市像に基づいた産業誘導、特定支援や、地区ごとの特色、八戸ならではの独自色）。既存の長期計画や都市マスタープランはじめ諸々の市の計画にも自ずと反映されるような、30年後、50年後の八戸を創造するものが出来ることを期待します。中核市を見据えながら、進む未来像、24万人の「夢」が共有されていれば、個別の計画や事業、そしてプロモーションも方向性ははっきりすることとします。</p> <p>政令指定市以外の小さな自治体でも、まちづくりに特性がある自治体では、そうしたビジョンを作成しているところがあると窺いました。</p> <p>そして、そのような都市ビジョンが成立した暁には、ひとりひとりの市民も個人の利益損失を超えて、八戸市の未来を共有できることが期待されます。学校教育や社会教育、町内会などでも勉強し、反芻していくことを経て、全国に誇るまち・八戸として次代へつないでいくことが出来る。そのことこそ重要だと、今更ながらに感じております。</p> <p>現在の「特例都市」から将来の「中核都市」を目指しての活動を期待したい。</p> <p>市が計画している事や現在行っている事をもっとPRしてほしい。デーリー東北の記事や広報はちのへで知る以外に情報が入らない。アンケートのほとんどすべての項目に「わからない」と答えました。</p> <p>5月17日（土）付けのデーリー東北「天鐘」のコラムです。正に賛同致しました。皆様再度、ご一読下さいます様、お願い申し上げます。小林市長にも読んでいただければ なお、有難いのです。</p> <p>[天鐘]</p> <p>「民の声は神の声」とはドイツのことわざ。手元の金言集で見つけた。政治関連の言葉として載っている。政治をつかさどる者は住民の声に謙虚に耳を傾けなければならない。そんな意味合いになる▼国や県などが施策の方向性を決める上で、住民の意識や要望を把握する手法はさまざまある。統計資料の活用やアンケートが一般的。それに加え、近年は専門家や有識者から意見を聞く方法が流行しているらしい▼懇談会や委員会など名称は異なるが、特定の課題について首長が打開策を諮問する。委員は意見を集約して提言する。多数の住民から意見を聴取するより手取り早く、協議を深めることができる利点があるとされる▼だが、問題もある。例えば、幅広い分野から委員が選出されているかどうかだ。偏った構成では公平性を欠き、多様な意見が反映されない。提言が後の施策を左右することを思えば、正当性も怪しくなる▼</p> <p>八戸市の過疎化を進行させない為には雇用の拡大と若者から見ても魅力ある都市に整備することは必要不可欠であり、人を差別しない・させない住み良い街づくりを推進し、そして八戸市中心街の活性化を図る為に駐車料金の無料化または優遇措置の実現や公共交通機関の利便性をこれ以上、損うことのない交通アクセスの向上・充実を最大限に意識された改革が今後の八戸市の豊かな発展につながっていくと思います。</p>
教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画	学校教育	<p>今年、中学、高校の入学が重なり大変不便な思いをしました。小学校と中学は午前、午後とわけられていましたが、公立は午後になっていました。できれば、日にちをズラして頂けると助かります。</p> <p>小学校の部活動のクラブ化において、対応が学校ごとにバラバラである。父母の会等へまる投げの状況において、大変混乱しています。将来ある小学生の運動や文化の環境を改善することが、5年後、10年後、オリンピック選手やレベルの高い文化人を輩出できる八戸市となると思います。勉強も大事ですが、クラブ活動へのケアをもっときちんとするべきであると最近強く思われました。</p>

分野	項目	自由意見
教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画	学校教育	秋田県は小6の学力テストで1位になりましたが、あおもりもなれるかもしれません。期待しています。
	文化・スポーツ	小中野の某所、明治?の建築物こそ、税金を注いで保存などをしてほしかった。一部の人が写真を撮りに来ているのを見ましたが、古き良き物を残して欲しい。
		2020年オリンピックの合宿所や練習場の整備と誘致を行って下さい。
		平成15年度に策定された、市教育プランに「スケートの普及推進に努めます」が明記されていたが、その後の教育振興基本計画からはこの文言が消えている。
		平成に入ってこのかた、小中学校のスケート教室や校内大会開催が激減している。当然、選手数も減り全国大会等での成績も目を覆うばかりの不成績だ。屋内スケート場完成時に活躍するスケーターがいなくなれば目指す大事業は泣く。
		多額の運営経費を赤字だ税金の無駄遣いだと指摘される前に、関係部署・教育委員会・学校現場とも強調して、すぐスケート振興策に取り組んで欲しい。
	スポーツに親しむ環境があまり整えられていないと思うので、市民が取り組める活動や場所の確保、そして、観戦できるような環境を整えて欲しいです。	
	地元サッカークラブ、ヴァンラーレ八戸を応援しています。更なる行政のパックアップに期待します。	
	国際化	外国人受入れの標識が不十分だと思う。
		20 関連 外国人のために最低限英語標記の案内板やパンフレット（公共施設に）を用意しておくことから始めて行きましょう。
男女共同参画	市なのかどうかわかりませんが・・・国、県なのか 私はマタニティハラスメントを受けました。これでは子供をこれ以上持つことがむずかしいです。経営者の方々に考えを変えてほしいです。	
	全般的に「以前より良くなっている」ように思うが、まだ「住み良い街」というレベルには達していないと感じます。 問 21, 22 未だに男女差別のようなものが日常的にあります。職場等でも常に感じます。今現在子育てまっ最中ですが、休暇は取りにくく、制度や法があっても結局はトップの意識次第だと思います。セミナーやパンフレット等での周知や促進を市で積極的に行ってほしいです。	
	男女参画グループ主催「女性チャレンジ講座」で、20代～40代と限定しているのは、どういう意味があるのでしょうか。都会の方では定年を終えた人たちが人生の経験や技術を持って社会に役立っていることをテレビで放送しています。年齢に関係なく集まるから、いろいろな話が聞けたり、刺激を受けることもあると思います。たくさんの方が参加できるようにして行ってほしいと思います。	
産業・雇用	観光	国立公園の中に四角くかこまれた”お庭”があるのはなぜでしょうか？ 国立公園、松を切りすぎて海から車道がまるみえです。国立公園に指定されない方が種差の自然を守れたのではないのでしょうか。 文化審議委員→「有識者」らしいですが、現場、市民の声も聞かず、何様ですか。 みちのく潮風トレイル、後手後手では？自身、歩き終わりましたが、地図のまちがい、トイレの冬期閉鎖、対策がまったくありません。 種差観光遊覧バスですが、ロングトレイルもあり、どこでも手をあげれば乗れるようにしてほしいです。「ちびっこトレイル」ははじめました。 市役所の広場で八戸の飲食店でB1 グランプリみたいなのをしても良いかと思えます。 種差海岸が国立公園に編入され、より一層八戸の知名度アップのチャンスだと思います。官民学、一体となって観光に力を入れて行ってほしいです。それにより、雇用が活性化すれば望ましいかと思えます。 縄文の世界遺産認定を期待しています。

分野	項目	自由意見
産業・雇用	観光	<p>・八戸は海や山の幸に恵まれ、おいしいものがたくさんあります。ところが、それを提供するお店にお客様を連れていける場所があまりなく、市内でも閉店される店があり、残念に思います。</p> <p>・お土産品にしても、きちんと包装、箱詰めされ、きれいなパッケージの物が少なく、買うものが限られてしまいます。お土産品を置いている所の品揃えが少ないので、近隣の市町村とも連携して、どこからでも取り扱えるようにしてみたいかでしょう。ユートリーや八食センター、市内のデパート、スーパーの接客もプロ意識を持ってきちんと対応できるよう勉強会や研修を行って、八戸を代表している気持ちで、仕事をしていってほしいと思います。</p> <p>観光について、ボランティアガイドを増やすだけでなく、市民みんなが観光客と接する可能性があるのだから、まず市民に対して観光PRをすべき。何度でも市民が足を運ぶ工夫をすべきと思う。</p>
	雇用	<p>雇用が増えなければ人口流出の歯止めはきかないと思う</p> <p>もっと中小企業誘致を。</p> <p>雇用も他県に比較して差がありすぎる。もっと企業を持って来てほしい!!若者が県外に出てしまいます。</p> <p>中核市への移行には、高度な技術をもった進出企業がある一方で、地元の中小事業者は劣悪な経営体質を保持したままという、八戸の後進性を改善することも必要であろう。</p> <p>八戸市のまちづくりの焦眉の急務は、人口減少に歯止めを掛ける事だと考えます。卑見ですが、市内の企業活動（特に中小企業の生産活動の賦活化）の活性化が不可欠だと思います。労働環境・労働条件の整備、改善も必要でしょう。最低賃金の確保や労働時間の適正化等も大事だと思われる。</p>
農林水産業		<p>外圧もあり、農林水産業が厳しいので、自信と夢の持てる支援を望む。他をまねるのではなく独自のブランド育成へのアイデアが重要だ。</p>
		<p>青森県が畜産を重視して進めているときいております。飼料コンビナート等のある八戸市周辺地帯はそれらの関連企業を誘致することも可能であると考えます。ただ円安、TPPの影響で日本で飼育するよりは日本の技術を海外で活かす方向になる可能性の方が大きいのかもしれないので、むずかしいですね!</p>
		<p>農業、漁業の第6次産業の活性化でも、雇用の工場が増え、若者の流出が止まればと思います。</p>
商業・中心市街地活性化		<p>郊外に点在する商業施設、病院、大学等々の現在のあり方にも、その時々理由背景があったとは言え、また、八戸駅と本八戸駅の位置の現状も含めて、まず、街づくりの政治的な失敗は、いかんともしがたい。中心街の活性化も限界があるのは当然なので、貴重な税金の投入もほどほどにした方が賢明だと思う!</p> <p>※ 発想の転換が、ますます必要な時代です。がんばりましょう!!</p>
		<p>中心市街地の活性化について、車社会の今日、市街地で銀ブラしたくても駐車料金の額が気にかかる。</p> <p>提案：現在一方通行されている2本の幹線道路の下に地下駐車場を造成し、無料開放したらいかが?</p>
		<p>No.81について、中心街住民が少なすぎる。</p>
		<p>複数の仕事をかけ持ちし、色んな業種からの視点を持っていますが、イマイチ八戸市の活性化を感じない。盛り上がっているのは、三日町や内丸など繁華街と呼ばれる特定の地域だけのように感じる。いまだに、震災の影響で倒産する会社もあると耳にしますし、八戸経済はまだ冷えていると思う。</p>
		<p>中心街駐車場の利便性向上を図る。</p>
		<p>産業、雇用は同居している若い家族を考えて見て答えました。</p> <p>No.35. 中心街は子供（幼稚園、小学生）が楽しむ所少なく、駐車場代がかかるから、市外へ出て行きます。</p>
		<p>当初、はっちを作るにあたって、又箱物作ってと批判的だが、はっちでいろいろな催をし、人が集まっており良かったと思っています。又、レックの跡地にも出来るようで楽しみである。</p>

分野	項目	自由意見
産業・雇用	商業・中心市街地活性化	<p>* 駐車場の件 中心街の活性化に向けて スーパー・コンビニは無料駐車場で商売を成立させて居る、これはまぎれもない事実であり現実です、要は消費者心理を突いての集客方法です。であれば、市の中心街の賑わいも全く上記の文面が当てはまる様な事柄に近づける方法が無いのでしょうか。 なんとか、駐車場無料整備が出来ないのでしょうか？ 市の中心街は確かに都会的な立派な街並みに生まれ変わりました。しかし巾の広い歩道にマッチしていない。歩行者がまばら。アメリカ旅行時に感心したのは、道路に車巾を取らない様に斜めに道路片側に限り駐車場無料の整備が出来ている事でした。 場合にては歩道両側 30cm カットして狭くして、かえって賑わいに見えるし、ましてや駐車場で集客すればと思います。 何か名案が無いか、全国を隈なく調査して見るのも一考かと思います。</p> <p>地元の業者の利益を守ることも大切だが、大手のスーパー、大型店の進出にブレーキをかけ、八戸市民が高い買物をして暮らしている現状とのバランスを考えて頂ければ有難い。1度の買物で1ヶ月暮らしている年金生活者もいますので。(1日100円生活ということです。)</p> <p>再々提言させて頂いておりますが、長根運動公園の活用について申し上げます。 中心街活性化のためにも中心街の近くに無料駐車場が不可欠と思います。そのための場所とすれば長根が中心街に歩いて10分～15分位で行けるし、最適の場所であろうと思います。話によりますと中心街の有料駐車場業者が反対している様ですが、大局的に見た場合、まず人が集まる事が街活性化の大前提だと思います。小異を捨てて大同に就くことをお願いしたいと思います。ひいては有料駐車場業者も潤うことになると思います。そのためには、現在ある野球場、作る予定の屋内スケート場等大型施設を中心に郊外に持っていくことも必要かと思います。参考迄ですが、既に耳にしていると思いますが、弘前でプロ野球を呼べる球場を考えている様です。 旧3市(青森市、八戸市、弘前市)の第二次商圈を比較した場合、①八戸市②弘前市③青森市だそうです。そうしますと、多くの人を動員する可能性が高いのは八戸市圏域だということです。これ等を踏まえて考えて頂ければと思います。</p> <p>現在の八戸中心街は藩政時代から少しも変わっていない。特に裏通りが歩道が狭く人口24万人の街として大分貧弱である。そこでセットバックがなかなか進まぬ理由は分かりませんが、あの通りで商売を営んでいる店主・大家の発想を変えて貰う必要があります。説得材料として、 1、客が商品(メニュー)の品定するのに、ゆったりとした気分が必要であり、そのためには歩道が広くなければなりません。 2、広くした歩道に季節的な草花を植え、明るく、開放的な空間を造る事により、人通りも多くなり、なお且つ店構えや入店しやすい雰囲気醸し出す事が必要だと思います。 3、セットバックした部分の固定資産税を非課税にする、又、歩道にかかる造成費用の何%か助成する。</p> <p>東日本大震災という千年に一度の事態を迎え、未曾有の災害を被りながら、官民一体の取組みで見事に復旧期の先頭を走り抜け、復興期へと進む市政に衷心より敬意を表します。 しかしながら、緊急時より一息ついて振り向けば、足元の産業基盤・地元各業界とも震災以前からの経営課題、見通しの不透明さ、後継者・担い手不足などの諸課題が明確に浮かび上がっています。 また、本八戸、鮫、岬台団地の三光ストア等が消える一方で、田向、白山台、糠塚など大型店舗の新設が進み、中心商店街は行政の支援が無ければ開発も改装も目に見えてきません。市全域で、各自各主体が商業理論・自己の便益のみで開発を進め、あるいは撤退しているだけにも見えます。そこに街の未来はあるのでしょうか。批判を承知しながらも、適切な誘導や規制をより強めることが必要なのではないのでしょうか。公とは何なのでしょう。</p>

分野	項目	自由意見
産業・雇用	商業・中心市街地活性化	中心街のシャッター空き店舗の活用はなんとかならないものか。
		「はっち」の役割についてもうすこし市民への説明があっても良いのでは（維持のための費用と定員管理を見直しは必要ないですか？） 健康増進施設についてですが、市内のあちこちに点在しているので利用勝手が非常に悪いです。 ふくちのバーデハウスの様な施設が市中心部にあつたら、運動のあとに美術館をちょっと観てみようとか、はっちで楽しい情報でもとか、洋服のショッピングとか・・・ 中心街に出かけるのが負担にならず時間をすごせるような環境、これがとても欠けていると思います。建物を造る際は、10年20年先をみて、人の流れができるような“まちづくり”に心して（税金を使って）ほしいです。
健康・福祉・介護・子育て・社会保障	健康	市民の健康づくりについて、全市的に市民全員が取り組む仕組み作りが不足しているのではないかと。現在参加していない層（特に男性）に力を入れてほしい。
	高齢者・障がい者	障がい者や高齢者が必要とするサービスは行政や市民と同じ認識でしょうか？
		高齢化に伴う、身近な買物が一人で出来ない者及び地域の救済対策を講じて欲しい。もっと現場・地域を現認して細かな、小さい所にも目を向けた計画を立ててください。大きな所及び要点をよく考えてくれていると思いますが、計画倒れにならないように活発な推進が必要と思われます。
		52 関連 特別養護老人ホーム入居は要介護3以上の方を対象とするなど、本来の特養ホームの目的を達成するようにして家族の介護者の負担を少なくしましょう。
	子育て	設問57に関連して 若い世代の収入は減少傾向にあることから、三才未満児の保育料の軽減をし、産み育てやすい市を目指すべきである。
		素晴らしい食材がたくさんあるので、食育にも力を入れて欲しいと思っています。
		若者が結婚できる環境を作ってほしい。人口が減少しますよ～!!
		1、少子高齢化により人口減少に伴い、男女を問わず、出産、育児と仕事の両立ができる環境づくりを提案します。
		高齢者福祉の充実より、子供、若者の為の政策を。
		産業、雇用は同居している若い家族を考えて見て答えました。 No43. 何年仕事していても、本採用ならず、夢も希望もないようです。二人の子供が成長するにつれ、教育費にお金がかかり、私ばかりでなく、同居している親の年金を出し、助けています。（友達も皆同じです。）
・子育て支援やもっと子供たちが自由に遊べる場所などが欲しい ・子供たちにいろんな体験ができるイベントが欲しい！！一時的なものや年に1回とかではなく、学ぶものや体を動かして遊ぶものなど充実して欲しい ・保育園でのやる体験が少なく感じる。また保育園によってはスイミングなどはあるがもっとサッカーなど体験できる環境があればうれしい		
子供が遊ぶ所が少ないので、もう少し増やしてほしいです。冬が特に少ないので屋内の施設を設けてほしいです。		
子育てする上で、お金がかなりかかっています。（医療費や教育費など）子供をたくさん産みたいと思っても、経済的にきびしさを感じているので、何らかの補助や控除がもっとあると産みやすいかなと思います。 市街地に、もっと授乳室やベビーカーとかあるといいなと思います。		
子育て世代ですが、病院代など、中学まで無料にしてほしいです。 教育にかかるお金を予算をもっととってほしいです。未来がある子供に投資してほしいです。 八戸市立の保育園に入れていますが、遊具もなく、こわれていてつかえないなどで、ひどいです。かわいそうになるかんじです。		

分野	項目	自由意見
健康・福祉・介護・子育て・社会保障	子育て	児童館の受け入れ時間（特に土曜日や夏、冬休み中）を 8:30～ではなく、7時台にしてほしいです。安心して預けられる事により、安心して仕事に専念することができます。
	社会保障	弱者救済の件（健康、福祉、介護、子育て）に関しては地域により意識、取り組みに差があるように感じられる。健康に関しては「職場で健診しているから」と答えが返ってはくるが、講演等（講座）で実際に内容（病に関し）成人病等を理解しているのか疑問を持つ。この観点から、現状評価は八戸市の取り組みの他に個人1人1人の意識からの評価となってしまいました。 医療・介護・福祉行政の充実（負担と給付のバランス）を図る。“住み易いまち”“住んでみたいまち”“暮らし易いまち”が徐々に人口増加にも直結すると考えます。
	医療	46, 60 関連 病気に関する情報がネットでも知識が入手でき、症状によっていくつかの病因があることから、自己診断で町医者を数件扉をたたく場合がある。八戸市民病院には総合診療科があったが開店休業の状態であった。病気の自己判断するのではなく、総合的に症状から病因を判断できるような総合診療科を充実することによって健康保険制度の健全化が図られるのではないのでしょうか。
環境・リサイクル・エネルギー	環境	環境、リサイクル、エネルギー関連にもっと強力に取り組むべき。 環境について 城下地区にゴミ箱の設置が無いですが、町内毎に対応するべき事項でしたか？ 又、設置場所、補助の問題でしょうか？
	エネルギー	省エネルギー（太陽光発電等）に関しては、設備の導入などが進んでいる様に感じています。
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	居住環境	市街地は快適に整備されているが、調整区域の郊外では、道路整備はじめ、生活環境は変わらず、市街地との格差が大きくなってきていると感じている。 高齢化の中で、街づくり、商店街の遅れが目立っている。重い扉、段差、歩きにくい歩道、登り運行時の横の電線処理。 空家の対策が必要になってきていると思います。 特に災害の起り易い地区の下水、排水溝等の管理、見廻り等は全く効力に住者には感じられない。一部の一地区の整備された事で市全体が安心、安全になったかのような情報の発信はひかえられたい。特に市の各部の責任者自らが視察し補修、整備された感は全くなく、現地、現場主義の市政運営を求める。特に市議員は選挙以外は全く効力の視察は見られず、市外、海外にばかりに目が向いている感がある。 私の住んでいる場所は家の前は私道で、問題のある道路で、舗装なし、下水道なし、冬雪片付けも来ない時もある。私の前の道路は私道のため、仕方ないとしても下水道の計画すらない。下水道の普及率を伸ばして欲しい。 私の家の辺りで空家が増えています。持主との話し合いで、例えば市の相談室みたいな部署を作り、八戸に人を呼びこむような事をしてもいいのではと思います。 ①お願いがあります。八戸商工会議所の役員の（鮫、山四郎蒔目地区）近くの雑木林の木が大変のびていますので道路端だけでも切ってもらいたい ②鮫消防署附近の（山四郎蒔目地区）雑木林の木も見遠しが悪い たい一部だけでもよいので切ってもらいたいのです カラスの糞で歩道が白く汚れているところがあり見苦しいので、カラス対策も必要と思われる（今年は特に醜い）。
		景観整備

分野	項目	自由意見
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	公共施設	文化施設の遅れと老朽化（美術館など）
		南部山公園の拡充・整備
		今年初めて三八城公園で花見をしました、5/2で桜も満開（ちょっと花びらもちり始めてましたが）とてもキレイでした。トイレもそこそこ整備してありますが臭いが少々気になりました。中型バスで（会社の花見だったので）いきましたが停めるところがなく、運転手の方は、一緒に花見できませんでしたので1~2台止められる駐車場があればよかったですかなあと思われました。
		<p>Iの15・17・18について</p> <p>○屋内スケート場が市立市営で整備される事が決まり、一日も早い（4or5年後？）完成を期待している。その間、市長のご英断や関係職員お並々ならぬご苦勞に敬意を表する。引き続き努力をしていただきたい。</p> <p>○八戸ならではの特色あるスケートの振興発展と諸イベント開催にかかる関係者の来八により、中心街地を始め市全体の発展に大きく寄与するビックチャンスであり多くの市民が期待していると思う。</p> <p>○3月の市議会一般質問では、数人の議員がこの件で質問したものの、その内容は貧弱、当然答弁も形式的。一般市民の新聞報道等で知る認識と同じレベルのお粗末さでがっかりだった。通告外の質問に施設内容・完成時の運営方針・運営費の試算について等本格的な論戦を聞いたかった。市民の代表である議員各自が立場を自覚して、資質の向上と日頃の活動に取り組んでいただきたい。</p> <p>○試算されている運営経費は、1億5千万円でも2億円でも小生は運営赤字だとは考えない（赤字とは県側が当初経費を概算で示した際に用いられてからだ）。伝統ある「水都」復活への赤字ではなく、八戸市発展への投資と考えて、堂々と迅速に進めていただきたい。</p>
		児童館、図書館（平日以外）の開館時間の1時間延長を検討してみてもいいかでしょうか。児童館については、公務員以外の世帯の子供も通っています。図書館については、土日祝日の閉館時間が早いように思います。5時になり、たくさんの方が一度に帰るのを見ると、もう少し使わせてあげたらいいのにと感じています。
		八戸港の港湾設備は、素晴らしく充実していると思います。しかし八戸港の知名度と物流における拠点性の高さについて、残念ながら充分と言いきれませんが、知名度アップには港湾設備の充実ぶりと、日曜朝市をセットでテレビ（マスコミ）に取り上げてもらう働きかけが必要ではないでしょうか。知名度（認知度）が高まれば、おのずと物流拠点として国内外からの利用が拡大していくものと思われまます。
		種差海岸ばかりに注目がいますが、「八戸公園」も素晴らしき事を他県にPRすべきと思っています。あれだけの広大な土地がきちんと管理され春、夏、秋と市民を楽しませてくれているのでは。特に私はバラ園が好きで毎年、楽しみにしています。自慢出来る公園です。公園と言えばもうひとつ、旧市民病院後地の多目的公園も素晴らしいと思っています。が 広葉樹の大きな木が植えてあっても良いなと思いましたが。真夏など木陰で涼みたい時もあると思います。
道路		本八戸駅周辺の整備、公共の交通機関を利用して長根公園へ向かう道の悪さ・・・何とか子供たちが安全に通える歩行者専用の道を確保した方が良い。
		歩道ひどい
		交通渋滞の対策が全然進んでない。
		八戸駅、本八戸駅、周辺の活性化と渋滞しやすい交差点（長苗代、北バイパス等）の信号のタイミング調整は急務です。
		・信号機が多すぎる。時差式や右折信号を増やすべき。細道等に関しては歩行者の安全が保たれていない場所がとて多いと感じている。（ミラー設置希望。）
		・今回の豪雪による除雪作業に関してはもっと早くに作業をするべきだと思う。降り積もり固まってからでは非常に遅いと思う。役所仕事と思われるも仕方ない。除雪作業により道路標識をグレーダで折り曲げたままだが、いつ直すのか。
大雪の為の除雪対策の強化を望みます。		

分野	項目	自由意見
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	道路	道路の冬が過ぎた後のくぼみ、かたむき等。道路は車だけのものではないので歩行者の目線でもっと改善してほしい。
		鮫地区の水源地（鉄砲平地区）を北に下りて行く道路の事ですが、でこぼこであるため車でも人でも通行に不便である為に困難なために調査の上対処してもらいたいのです。よろしくお願いします。
	公共交通	お年寄り、身障者がバスを利用出来る様に低床バスを増やして欲しい。又「～行きの何時のバスが低床」と表して欲しい。そうする事により、利用客も大助りになると思います。
		公共交通機関の更なる利便性向上に努めてほしい。
		バスの利用がしにくい、不便
		北部に住んでいる市民の1人です。市民税を同じく払っていますが、公営バスは通っておらず状態。いつも矛盾を感じています。
		バスの市営の方はそうでもないが、南部バスの痛み具合がさび、窓の汚れ、いすのすわりごちがだいぶ違う!!
		設問項目 71 に関連して ・災害時のことを想定し、公共性の高い施設（学校、幼稚園、保育園、公民館等）に太陽光発電を市の予算で設備できるようにすべきである。
	防災	防災力の強化について、町内会に自主防災組織を作り計画を立てているが、企業内の防災計画が不足しているのではないかと思う。あらゆる時間帯を想定した計画と、実効性について具体的に検討してほしい。
		防災力の強化が大事ですが、併せて、被害を最小限に押さえるための減災対策、又、従来の避難訓練とは違う津波避難、女性、子ども、高齢者をきちんと巻き込んだ訓練を実施していくように、指導、助成して下さい。 女性の視点からの避難所設置、運営訓練も、遅すぎるかもしれませんが、公民館区を中心として、実施して下さいよう指導下さい。（乱文にて失礼します）
		県の事業で復旧・復興で海岸沿いに防潮堤を構築が、市川町方面のみに変更になり、何時でも海を見れる事に大変喜んでいる。高い防潮堤があると、海の変化に気付くのが遅れるので、中止になり、「ありがとう」と言いたい。
		地球温暖化により災害が発生しやすくなっている昨今のため、災害対策の整備を提案します。 (1) 住宅地、(2) 農地、(3) 河川、(4) 道路
		火災に強い町作りが大事だと思います。ポンプ車が入って行けない所がけっこうありますので。
津波対策として防波堤の増設を考えてみたらどうか。		
市役所が街の中心にありながら治安の悪さ（三八城公園のパトロールの強化など）が気になる。		
防犯	防犯、コミュニティ造りなどを形成する為には幼児のころからやっではないこと、行なうべき行動の有り方などを教えることが必要。 その子が大人になり、親になってはじめて人としての形成のサイクルができると思いますので、急がず大きな輪を作るつもりでの教育がまちづくりの基本に有ると思います。	
	街灯が少ない所、全くない所があり、これでは犯罪を誘発してしまうと思う。街のイメージも暗いと思われてしまう。即時の改善と検討をして欲しい。	
	総合計画は予定通りに進捗していると思います。しかしながら、先日八戸市、高齢者の万引増加について新聞記事を読み、同じ高齢者の立場で胸が痛みました。動機も良くわかりませんが、対策会議等検討されている様子。子供や病気の老人(?)だけではなく、防犯予防の為の見守りを店舗、商業施設での実施が必要ではないでしょうか？早急に対策を考え、実効汚名返上したものです。	
行政	まちづくり	安心・安全の住み良いまちづくりが着々進んでいる様子が感じられます。更に推進してくれることを望みます。

分野	項目	自由意見
行政	まちづくり	水産都市、工業都市の推進に加えて、八戸の城下町としての歴史のある町づくりを形成してもらいたい。八戸の歴史が観光にもつながれば良いと思う。 必要なもの、不要なものがあるとありますが、他の地域から八戸に来てみたいと思える、まちづくりが必要だと思えます。八戸のシンボルになるような場所が必要だとも思います。
	住民参加	・教育分野、子育て分野、まちづくり、その他、もう少し、市民の提案や想いが（ニーズも）届けられる場があるといい。 ・市長との意見交換や、情報提供なども、分野ごとにそのような機会があったら、いいと思う。 屋内スケート場建設にあたっては、「はっち」で成功を見た市民参加という手法をぜひ踏襲していただきたいと存じます。 市長さん、県議の方、町内の公民館に出向いてこれからの計画や市民の方々の声を聞く機会があればいいとおもいます。 誰でも、安心して楽しく生きられる街を望んでいますし、八戸のまちづくりについては、要望なども含めて、言いたいことは沢山あるはずで。 また、まちづくりは、市民の支援や協力なくしては難しいと思われま。もっと積極的に、市民の意見を聞いたり、話し合いの機会を今まで以上に増やすことが、何より大切なことではないでしょうか。
その他	アンケート	評価する具体的なデータをあまり把握していないため見当ちがいな評価になったかもしれません。（勉強不足で申しわけありません。） このようなアンケートを取る際には、無記名であってもどういった分野に携わっているかを聞くべきでは。実態とイメージがゴチャゴチャになってしまっは分析するやり方にも価値にもマイナスの違いが出てしまうと思えます。 「十分満たされている」の基準が、市民サイドでは判断しにくい。 八戸市のまちづくりについてはではないですが、このアンケートは質問数が多すぎて、いい加減に書きそうになった。 わからないことが多く、あまり関心をもっていないことに気づきます。申し訳ありません。
	その他 意見・要望等	数年前に比べ、若者の地元愛が強くなってきているように感じます。若い人が積極的に何かを発信しているようです。 ある県では、東京にその県に戻って生活したいと思える人を集めるための事務所のようなものを作り、成果をあげているそうです。その事務所では生活する場所、仕事を紹介しているそうです。八戸でもやっているのでしょうか。いつも思うのですが、東京に人が集中しすぎるのも考えものです。かつて国会を移動させるという意見もありましたが、費用がかかり過ぎる(?)ので、その意見は消えたみたいですが。 表彰制度は無駄だと思います。表には見えないところで、ものすごく悪どいことをした人間が同じことを長く続けていたということで表彰されているのを知っています。中には値する人もいるでしょうが、別な形を設けてもいいのでは。私はかつて市の委託団体で表彰のために時間と労力を割いているのを見ていました。増税で苦しい生活を強いられている人も多くなか、血税を無駄に使って欲しくありません。表彰されたからと言って周りで、すごい!!と思う人は少ないのではないのでしょうか。 アンケートとあわせ、市政モニター等の人たちが実際集まって話しあう機会と場があればよいと思えます。 アンケートとは別ですが、モニター募集の際、メールでのアンケート回答があったのですが、今回以降も郵送でのアンケート回答になるのですか？郵送だと送り忘れとかあったりするの・・・。 「広報はちのへ」を毎月、楽しみにしています。こんなにも充実された紙面を発行している市は、数少ないのではと。内容編成も素晴らしく、八戸市政の有り方が一目瞭然です。読みごたえがあります。市政を知る為のひとつとして私には不可欠です。

参考. 調査票

あなたは、それぞれの設問項目について、現状をどのように評価しますか。それぞれの設問項目についての現状評価として、あてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

設問項目	現状評価 (1~6の一つに○)					
	十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態						
I 総合計画に関する質問 (No. 1~86)						
住民自治の推進						
1 市民、事業者および行政が協力し合いながらまちづくりを進めている。	1	2	3	4	5	6
2 防犯・防災活動や環境美化などの地域が自主的に行う地域コミュニティ活動が活発に行われている。	1	2	3	4	5	6
3 ボランティアや市民活動団体（NPO）がまちづくりの担い手として活躍している。	1	2	3	4	5	6
自治体経営の強化						
4 組織の見直しや適正な定員管理が行われ、効率的な行財政運営が行われている。	1	2	3	4	5	6
5 市民が幅広く行政に参画し、市民の声が活かされた行政サービスが提供されている。	1	2	3	4	5	6
6 事務事業の見直しにより、行政サービスの向上と行政コストの削減が図られている。	1	2	3	4	5	6
7 都市圏の中心都市としての中枢機能が高まるとともに、周辺市町村との連携が強化されている。	1	2	3	4	5	6
8 ゆかりの都市間・地域間の交流が図られている。	1	2	3	4	5	6
教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画						
9 子どもたちの体験学習が活発に行われている。	1	2	3	4	5	6
10 自由に学ぶことができる多様な学習機会が提供されている。	1	2	3	4	5	6
11 幼稚園・保育所（園）・児童館・小学校・家庭・地域の連携により就学前の教育環境が充実している。	1	2	3	4	5	6
12 義務教育課程において基礎・基本を身に付けるとともに、豊かな心と健やかな体の育成が行われている。	1	2	3	4	5	6

設問項目	現状評価	現状評価 (1～6の一つに○)					
		十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態							
13 経済的な理由に妨げられることなく、高校・大学等の平等な就学機会を確保できている。		1	2	3	4	5	6
14 日常生活のなかで広く学びの場を持つことができている。		1	2	3	4	5	6
15 学校・家庭・地域が連携し、青少年の健全育成に取り組んでいる。		1	2	3	4	5	6
16 芸術・文化の鑑賞機会や活動機会など、芸術・文化に親しむ機会が充実している。		1	2	3	4	5	6
17 個性豊かな伝統文化を後世に伝えるための後継者が育っている。		1	2	3	4	5	6
18 市民が気軽にスポーツに親しむ環境が整っている。		1	2	3	4	5	6
19 外国の文化・歴史・言語等の学習を通じて、児童・生徒が国際社会に対する理解を深めている。		1	2	3	4	5	6
20 在住外国人にとって、暮らしやすい環境が整っている。		1	2	3	4	5	6
21 男女が性別による差別的扱いを受けることなく、個人として能力を発揮できる職場環境が形成されている。		1	2	3	4	5	6
22 男女平等意識の醸成により、男女それぞれの人権が尊重され、自分らしく生きることができる社会が形成されている。		1	2	3	4	5	6
産業・雇用							
23 産業間の連携により新たな産業が創出され、地域経済の活力が高まっている。		1	2	3	4	5	6
24 高度な技術をもった競争力のある企業の立地が進んでいる。		1	2	3	4	5	6
25 新事業・新分野に挑戦するなど意欲的な中小企業が増えている。		1	2	3	4	5	6
26 八戸産の農林水産物を生かしたブランド商品が増えている。		1	2	3	4	5	6
27 農林業の後継者の育成が行われ、担い手が充実してきている。		1	2	3	4	5	6
28 有機農法や減化学農薬、減化学肥料等が広まり、安心・安全な農産物が提供されている。		1	2	3	4	5	6
29 優良農地の保全や、園芸作物の施設整備、適切な森林整備などにより、農林業経営の生産性・効率性が高まっている。		1	2	3	4	5	6

設問項目	現状評価	現状評価 (1～6の一つに○)					
		十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態							
30 漁業経営の改善が進むとともに、後継者となる担い手が育っている。		1	2	3	4	5	6
31 魚市場での衛生設備が充実し、市民に安全・安心な食材が提供されている。		1	2	3	4	5	6
32 人工的な岩場の造成や余分な海底土砂の除去などにより漁場の整備が図られている。		1	2	3	4	5	6
33 誘致企業が増え、雇用の増加が図られている。		1	2	3	4	5	6
34 大学や行政等との連携や支援により、新たな事業（ビジネス）や産業をおこしやすくなっている。		1	2	3	4	5	6
35 中心街において快適な商業空間が整備されている。		1	2	3	4	5	6
36 流通業務の共同化や効率化が図られ、地域の生産・消費を支えている。		1	2	3	4	5	6
37 八戸港の知名度の向上により、八戸港の利用が活発化し、物流における拠点性が高まっている。		1	2	3	4	5	6
38 八戸港の岸壁や防波堤などの港湾施設が充実し、海外との経済交流が活発になっている。		1	2	3	4	5	6
39 PR活動の展開により、八戸市の観光資源の知名度が高まり、首都圏などから八戸市を訪れる人が増えている。		1	2	3	4	5	6
40 市民のボランティアによる観光ガイド活動が盛んになっている。		1	2	3	4	5	6
41 新たな観光資源の発掘により、八戸ならではの観光資源が充実している。		1	2	3	4	5	6
42 新規高卒者を含む若年者の就労の場が増えている。		1	2	3	4	5	6
43 給与や労働時間といった勤労者の働く環境が改善してきている。		1	2	3	4	5	6
健康・福祉・介護・子育て・社会保障							
44 市民の健康づくりに対する意識が高まり、健康教室などの健康づくり活動に積極的に参加している。		1	2	3	4	5	6
45 生活習慣病等の予防や早期発見、早期治療の体制が充実し、健康の保持・増進が図られている。		1	2	3	4	5	6

設問項目 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態	現状評価 (1～6の一つに○)					
	十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
46 必要なときに必要な医療を受けられている。	1	2	3	4	5	6
47 日頃から家庭や地域において、助け合いや支え合いによる暮らしが根付いている。	1	2	3	4	5	6
48 学校や地域での福祉ボランティアに参加する市民が増えている。	1	2	3	4	5	6
49 福祉サービスの利用に関する支援や虐待の防止など、人権の尊重や権利擁護に対する体制が充実している。	1	2	3	4	5	6
50 保健・医療・福祉等の連携により、地域住民一人ひとりのケースに応じたきめ細かなサービスが提供されている。	1	2	3	4	5	6
51 高齢者およびその家族が、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができる。	1	2	3	4	5	6
52 高齢者が求める介護サービスが提供されるとともに、介護にあたる家族に対する支援も充実している。	1	2	3	4	5	6
53 高齢者自身が自らの経験と知識を生かし、積極的に社会参加している。	1	2	3	4	5	6
54 障がい者が必要とする障がい福祉サービスが適正・適切に提供されている。	1	2	3	4	5	6
55 障がい者の就労訓練や就労の場が充実している。	1	2	3	4	5	6
56 障がい者を受け入れる環境が整い、障がい者が地域活動等へ積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6
57 子どもを産みたい人が経済的な負担を感じることなく、安心して産み育てることができる。	1	2	3	4	5	6
58 子育て支援サービスが充実しているとともに、地域において子どもたちを見守り、子育てを助け合う環境が充実してきている。	1	2	3	4	5	6
59 労働環境の改善が進み、男女とも働きながら子育てをすることができる。	1	2	3	4	5	6
60 国民健康保険制度が安定的に運営され、保険加入者の健康維持・増進や医療費の適正化が図られている。	1	2	3	4	5	6
61 適正な保険給付により、介護保険制度が堅実に運営されている。	1	2	3	4	5	6
62 年金制度に対する市民の理解と認識により、高齢者などが経済的に安定した生活を送っている。	1	2	3	4	5	6

設問項目	現状評価	現状評価 (1～6の一つに○)					
		十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態							
63 低所得者に対する適正・適切な生活支援が行われ、自立する世帯が増えてきている。		1	2	3	4	5	6
環境・リサイクル・エネルギー							
64 学校や地域における環境教育が充実し、市民の環境意識が高まっている。		1	2	3	4	5	6
65 豊かな自然環境が保全され、身近に自然とふれあうことができる。		1	2	3	4	5	6
66 大気、水質、土壌等が良好な状態に保たれている。		1	2	3	4	5	6
67 ごみの減量化や再使用・再生利用等により、ごみの排出量が減少している。		1	2	3	4	5	6
68 ごみの不法投棄の防止対策が強化されている。		1	2	3	4	5	6
69 環境・リサイクル関連産業が立地し、八戸市の主要な産業の一つとなっている。		1	2	3	4	5	6
70 省エネルギー対策に取り組む企業や市民が増えている。		1	2	3	4	5	6
71 家庭や事業所等において、太陽光発電等の新エネルギーの導入が進んでいる。		1	2	3	4	5	6
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通							
72 家庭や地域において、みずからの地域はみずからが守るという安全・安心に関する意識が高まっている。		1	2	3	4	5	6
73 防犯・防災のために、地域で見守り助け合うコミュニティが形成されている。		1	2	3	4	5	6
74 災害の危険箇所や建築物等の防災対策が進み、災害に強いまちになっている。		1	2	3	4	5	6
75 防災訓練を通じて、関係機関が災害時に迅速かつ的確に対処できる体制ができている。		1	2	3	4	5	6
76 市民から信頼される消防・救急体制が整備されている。		1	2	3	4	5	6
77 道路や河川、電気、ガス、上下水道、通信などのライフラインの復旧が円滑に実施できる体制が整っている。		1	2	3	4	5	6

設問項目	現状評価	現状評価 (1～6の一つに○)					
		十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態							
78 警察などの関係機関と地域団体との連携が強化され、「犯罪が起りにくい」「犯罪を起こしにくい」地域になっている。		1	2	3	4	5	6
79 安心して歩行でき、自動車も安全で円滑に走行できる。		1	2	3	4	5	6
80 消費生活において市民の意識が高まり、適切な選択・判断ができています。		1	2	3	4	5	6
81 地域の特性※に応じた快適でうるおいのある市街地が形成されている。 ※地域の特性とは、例えば「低層の戸建住宅地である」、「住宅以外の商業などが複合する地区である」、「田園や自然に恵まれた地区である」などを指しています。		1	2	3	4	5	6
82 道路や下水道などの都市基盤が計画的に整備され、市民が安全で快適な生活を送ることができるまちになっている。		1	2	3	4	5	6
83 身近に緑にふれることができる都市環境が形成されている。		1	2	3	4	5	6
84 身近に親しむことができる水辺空間が形成されている。		1	2	3	4	5	6
85 バスと鉄道の円滑な接続や、利用者のニーズに即した運行などにより、公共交通を利用しやすくなっている。		1	2	3	4	5	6
86 高速道路やフェリー、空港などの交通基盤が整っており、広域的な移動が便利になっている。		1	2	3	4	5	6
II 復興計画に関する質問 (No. 87～105)							
被災者の生活再建							
87 生活資金・就学支援等の支援制度のほか、関係機関と連携した相談窓口体制が整い、被災者の生活支援が充実している。		1	2	3	4	5	6
88 住宅の復旧・再建支援や一時入居住宅等の提供により、被災者の生活基盤となる住宅が確保されている。		1	2	3	4	5	6
89 緊急雇用の創出や事業者への雇用支援、離職者等への職業訓練等により、雇用対策が強化され、職を失った被災者等の経済的自立が図られている。		1	2	3	4	5	6
90 医療・保健・福祉が充実するとともに、震災がれきの処理や環境モニタリング等により生活環境が充実し、市民のより安全・安心な生活が確保されている。		1	2	3	4	5	6

設問項目	現状評価	現状評価 (1～6の一つに○)					
		十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態							
地域経済の再興							
91 漁船、漁港、市場、加工流通の各分野における機能が復旧し、東日本の全体の復興に寄与する水産食料基地として水産業の再興が図られている。		1	2	3	4	5	6
92 農地や関連施設等が復旧し、土壌診断、栽培調査、金融支援策等の経営支援により、地域特性を生かした農林畜産業の再興が図られている。		1	2	3	4	5	6
93 震災の影響により厳しい経営状況にある企業への支援策のほか、企業誘致活動、ポートセールス等の推進により、北東北における産業拠点として企業活動の再興が図られている。		1	2	3	4	5	6
94 観光施設の復旧のほか、種差海岸の国立公園編入を起爆剤に、新たな観光資源の開発や広域的連携を視野に入れた誘客宣伝が進み、各種イベントや情報発信を通じた商業・サービス業の活性化が図られている。		1	2	3	4	5	6
95 放射性物質に対する監視体制が整備され、地場産品に関する適切な安全情報の発信等により、産業全般にわたる風評被害が克服されている。		1	2	3	4	5	6
都市基盤の再建							
96 最低限市民の生命が守られるよう、被害をできるだけ最小にする「減災」の視点に立ち、ハード・ソフト両面から震災対策が行き届いた市街地が整備されている。		1	2	3	4	5	6
97 北東北の地域経済を支える国際物流拠点港として、八戸港の整備促進や防災力の強化が図られている。		1	2	3	4	5	6
98 市民の生命・財産を守るための海岸や河川の堤防等の復旧整備が進み、津波対策の強化が図られている。		1	2	3	4	5	6
99 避難路となる道路網や避難先となる公園・緑地の整備、建物の耐震化等が進み、災害時における迅速かつ円滑な避難と安全が確保されている。		1	2	3	4	5	6
100 バスや鉄道等の公共交通の利便性の向上と災害時の対応力の強化が図られ、災害時における円滑な人の移動や物資の流通が確保されている。		1	2	3	4	5	6

設問項目 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態	現状評価 (1～6の一つに○)					
	十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
防災力の強化						
101 大震災の経験・教訓を生かし、市の地域防災計画の検証・見直しが進むなど、総合的かつ計画的な防災体制の強化が図られている。	1	2	3	4	5	6
102 平常時の防災訓練や防災教育、災害時における広報体制の強化や避難所等の整備により、災害に対する備えと災害応急体制が充実している。	1	2	3	4	5	6
103 水、エネルギー等のライフラインの強化のほか、省エネルギー対策の充実、再生可能エネルギーの導入促進により、災害に強いエネルギーの供給体制が構築されている。	1	2	3	4	5	6
104 ボランティア活動や地域づくり活動などにより復旧・復興が促進されるとともに、文化・スポーツの振興や各種イベントを通じて、復興に向けた全市的な気運の醸成が図られている。	1	2	3	4	5	6
105 これまで培ってきた広域連携の実績を生かし、八戸圏域内外との連携強化により、当市並びにゆかりのある市町村の創造的復興が推進されている。	1	2	3	4	5	6

Ⅲ 自由記入欄

今後の八戸市のまちづくりについて、御意見・御提案がありましたら、下の自由記入欄に御自由に御記入ください。

アンケートに御協力くださりまして、誠にありがとうございました。